（様式第 10）

三大医病総 284 号
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣　　殿

国立大学法人三重大学
学長　駒田　美弘　　（印）

国立大学法人三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 31 年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒514-8507　三重県津市栗真町屋町1577
氏　　名	国立大学法人三重大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

国立大学法人三重大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地　　電話(059)232－1111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

(1)医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	(有)・無
内科と組み合わせた診療科名等 (1)呼吸器内科　2消化器内科　(3)循環器内科　(4)腎臓内科 5神経内科　(6)血液内科　7内分泌内科　8代謝内科 9感染症内科　10アレルギー疾患内科またはアレルギー科　11リウマチ科	
診療実績 消化器内科：消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科：リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。	

（注）1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	有　・　無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科　2消化器外科　3乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　6心臓血管外科　7内分泌外科　8小児外科	
診療実績	

(注) 1　「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科　2小児科　3整形外科　4脳神経外科　5皮膚科　6泌尿器科　7産婦人科 8産科　9婦人科　10眼科　11耳鼻咽喉科　12放射線科　13放射線診断科 14放射線治療科　15麻酔科　16救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	有　・　無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科　2矯正歯科　3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 脳神経内科 2 消化器・肝臓内科 3 腫瘍内科 4 糖尿病・内分泌内科　5 緩和ケア科 6 病理診断科 7 移植外科　8 形成外科 9 リウマチ・膠原病内科　10 リハビリテーション科

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　　種	常　勤	非常勤	合　計	職　　種	員　数	職　　種		員　数
医　　師	293人	230人	499.1人	看護補助者	45人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	7人	13人	19.1人	理学療法士	8人	臨床検査	臨床検査技師	66人
薬　剤　師	32人	17人	48.3人	作業療法士	2人		衛生検査技師	0人
保　健　師	0人	1人	1人	視能訓練士	6人		そ　の　他	0人
助　産　師	45人	4人	48.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看　護　師	568人	135人	665.7人	臨床工学士	24人	医療社会事業従事者		11人
准看護師	0人	4人	3人	栄　養　士	0人	その他の技術員		68人
歯科衛生士	1人	2人	3人	歯科技工士	2人	事　務　職　員		245人
管理栄養士	4人	7人	10.6人	診療放射線技師	45人	その他の職員		3人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	65人	眼科専門医	11人
外科専門医	48人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	5人	放射線科専門医	28人
小児科専門医	20人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	20人	救急科専門医	15人
		合　計	272人

（注）1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　伊佐地　秀司　）　任命年月日　令和元年10月1日

医療安全管理委員会や三重県医師会事故調査委員会の委員として、院内・院外において業務を経験。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	521.0人	8.9人	529.9人
1日当たり平均外来患者数	1392.1人	93.2人	1485.3人
1日当たり平均調剤数	入院　770.5　剤　外来 46.0剤		
必要医師数	134.7人		
必要歯科医師数	7.0人		
必要薬剤師数	18人		
必要（准）看護師数	315人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	285.60m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	病床数	13床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　374m²　病床数　31床 ［移動式の場合］　台数　台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床積　53m² ［共用室の場合］　共用する室名					
化学検査室	423 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）遠心機、自動分析装置			
細菌検査室	147 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）顕微鏡、遠心機、安全ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ			
病理検査室	236 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）顕微鏡、染色装置			
病理解剖室	32 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）電動昇降式解剖台			
研究室	758 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）遺伝子解析装置、液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ、自動洗浄機			
講義室	1617 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数	19 室	収容定員	1,193 人
図書室	759 m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数	2 室	蔵書数	55,180 冊程度

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	87．0%	逆　紹　介　率	73．7　%
算出根拠	A：紹　介　患　者　の　数		13,784人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,732人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,241人
	D：初　診　の　患　者　の　数		17,265人

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
奥野　正義	中部電力パワーグリッド株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山　眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1
小池　敦	三重県立看護大学看護学部教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木　明	浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室 特任准教授	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 本学ホームページへ掲載。	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数
末梢血単核球移植による血管再生治療	0人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法　上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検　早期胃がん	2人
水素ガス吸入療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	ペースメーカーリード抜去術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ペースメーカーや植込型除細動器による合併症として感染や血栓症を発症した際、全身麻酔下にリード抜去を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下総胆管拡張症手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 胆外胆肝切除（胆嚢合併）、胆管空腸吻合術（Roux-Y再建）を腹腔鏡下で行う。			
医療技術名	内視鏡手術支援機器を用いた胸腔鏡下肺悪性腫瘍（肺葉切除以上）手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 肺悪性腫瘍に対し遠隔操作による手術支援機器を用いて、内視鏡下に行う。			
医療技術名	内視鏡手術支援機器を用いた腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 膀胱悪性腫瘍に対し遠隔操作による手術支援機器を用いて、内視鏡下に行う。			
医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下直腸切除・切断術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 直腸癌に対し遠隔操作による手術支援機器を用いて、内視鏡下に行うもの。			
医療技術名	鎖骨下動脈アプローチ(TAVI)：鎖骨下動脈アプローチ	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 重症大動脈弁狭窄症患者に対し鎖骨下動脈を外科的に露出し、血管穿刺、ワイヤー・デバイスのデリバリーを行い、生体弁を留置する。			
医療技術名	皮下植込型ポート抜去術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 ペースメーカーのリード抜去システムに必要な機材を併用しポート抜去を行う。			
医療技術名	経皮的肺静脈狭窄拡張術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 カテーテルによる肺静脈狭窄部の拡張を行う。			

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	49
2	筋萎縮性側索硬化症	10	57	特発性拡張型心筋症	48
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	14
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	27
6	パーキンソン病	175	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	1	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	45
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	48	66	IgA 腎症	36
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	16
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	54	68	黄色靭帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13	69	後縦靭帯骨化症	47
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	34
17	多系統萎縮症	17	72	下垂体性ADH分泌異常症	27
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	45	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	27	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	58
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	16	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	44
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	7
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	34
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	28
34	神経線維腫症	21	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	17	90	網膜色素変性症	31
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	14	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	50
39	中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	15	95	自己免疫性肝炎	9
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	220
42	結節性多発動脈炎	10	97	潰瘍性大腸炎	328
43	顕微鏡的多発血管炎	9	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	6	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	167	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	91	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	122	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	30	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	16	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	12
113	筋ジストロフィー	7	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	3	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	3

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	8	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	32	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	6
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	3
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	5
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	42

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	0
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	7
318	シトリン欠損症	1	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0			

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染防止対策加算1
・歯科外来診療環境体制加算	・抗菌薬適正使用支援加算
・歯科診療特別対応連携加算	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・呼吸ケアチーム加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・診療録管理体制加算1	・データ提出加算2
・医師事務作業補助体制加算1	・入退院支援加算1・3
・急性期看護補助体制加算	・入院時支援加算
・看護職員夜間配置加算	・入退院支援加算の注8に掲げる総合機能評価加算
・看護補助加算1	・精神疾患診療体制加算1・2
・療養環境加算	・地域医療体制確保加算
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料4
・無菌治療室管理加算1，2	・特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2
・医療安全対策加算1	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・心臓ペースメーカー指導管理料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・高度難聴指導管理料	・仙骨神経刺激装置植込術・交換術（便失禁）
・糖尿病合併症管理料	・角膜移植術（内皮移植加算）
・がん性疼痛緩和指導管理料	・羊膜移植術
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・外来緩和ケア管理料	・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
・移植後患者指導管理料	・網膜再建術
・糖尿病透析予防指導管理料	・人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補助器交換術
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ（拡大副鼻腔手術）
・婦人科特定疾患治療管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・腎代替療法指導管理料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・外来放射線照射診療料	・上顎・下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）
・開放型病院共同指導料	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）
・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）	・乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除（腋窩郭清を伴わないもの） 及び乳頭乳輪切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・がん治療連携計画策定料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・認知症専門診断管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算１、２
・肝炎インターフェロン治療計画料	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ハイリスク妊婦連携指導料1・2	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・薬剤管理指導料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・地域連携診療計画加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 （内視鏡支援機器を用いる場合）（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・診療情報提供料（Ⅰ） 検査・画像情報提供加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）
・診療情報提供料（Ⅰ） 電子的診療情報提供料	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る）
・医療機器安全管理料1・2	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの),内視鏡下胃，十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術,胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・精神科退院時共同指導料2	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）

・在宅血液透析指導管理料	・胸腔鏡下弁形成術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・経カテーテル大動脈弁置換術
・持続血糖測定器加算	・胸腔鏡下弁置換術
・遺伝学的検査	・経皮的中隔心筋焼灼術
・骨髄微小残存病変量測定	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・BRCA1/2遺伝子検査	・ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカー）
・がんゲノムプロファイリング検査	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
・先天性代謝異常症検査	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
・HPV核酸検出	・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
・HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ）	・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・国際標準検査管理加算	・補助人工心臓
・遺伝カウンセリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下噴門側胃術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・シャトルウォーキングテスト	・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胎児心エコー法	・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
・ヘッドアップティルト試験	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下肝切除術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く）、2区域切除及び3区域切除以上のもの）
・脳波検査判断料1	・生体部分肝移植術
・神経学的検査	・同種死体肝移植術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・黄斑局所網膜電図	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・全視野精密網膜電図	・腹腔鏡下膵頭部切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。）
・ロービジョン検査判断料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・コンタクトレンズ検査料1	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）

・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・センチネルリンパ節生検	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・CT透視下気管支鏡検査加算	・同種死体腎移植術
・画像診断管理加算1，2，3	・生体腎移植術
・ポジトロン断層撮影	・膀胱水圧拡張術
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・人工尿道括約筋植込・置換術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの）
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・外傷全身CT加算	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）
・頭部MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
・外来化学療法加算1	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・連携充実加算	・輸血管理料（Ⅰ）
・無菌製剤処理料	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	・自己生体組織接着剤作成術
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	・同種クリオプレシピテート作製術
・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・胃瘻造設時嚥下評価機能加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯周組織再生誘導手術
・歯科口腔リハビリテーション2	・手術時歯根面レーザー応用加算
・認知療法・認知行動療法	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・精神科ショート・ケア及びデイ・ケア（小規模なもの）	・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・放射線治療専任加算
・医療保護入院等診療料	・外来放射線治療加算
・エタノールの局所注入（甲状腺・副甲状腺）	・高エネルギー放射線治療
・人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	・強度変調放射線治療（IMRT）
・人工腎臓の導入期加算2（腎代替療法実績加算）	・1回線量増加加算（全乳房照射）
・透析液水質確保加算2	・画像誘導放射線治療加算（IGRT）

・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・体外照射呼吸性移動対策加算
・歯科技工加算	・1回線量増加加算（前立腺照射）
・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算）	・定位放射線治療
・皮膚移植術（死体）	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）【一次再建・二次再建】	・画像誘導密封小線源治療加算
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種移植術（非生体）（同種骨移植術（特殊なものに限る）））	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・デジタル病理画像による病理診断
・後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・病理診断管理加算２
・椎間板内酵素注入療法	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	・CAD/CAM冠

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	・腹腔鏡下広汎子宮全摘術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.)臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回/月
剖検の状況	剖検症例数 11例 ／ 剖検率 3.2%

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	伊藤正明	医学部附属病院	456,918	補 委	公益在団法人　循環器病研究振興財団
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究:フォローアップ	山口素子	医学部附属病院	4,150,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
未治療血管内大細胞型B細胞リンパ腫に対する治療研究	山口素子	医学部附属病院	3,060,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究〔G-CSF〕急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験第Ⅲ相試験	明田浩司	医学部附属病院	384,616	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(公益社団法人　日本医師会治験促進センター)
治験の実施に関する研究〔ザルトプロフェン〕びまん型腱滑膜巨細胞腫(色素性絨毛結節性滑膜炎)及び根治切除不能な限局型腱滑膜巨細胞(腱滑巨細胞腫)患者に対するザルトプロフェンのプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験(第Ⅱ相試験)	中村知樹	医学部附属病院	920,458	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(公益社団法人　日本医師会治験促進センター)
血管免疫芽球性T細胞リンパ腫(AITL)及びその他の濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫に対するダサチニブの多施設第Ⅱ相医師主導治験	山口素子	医学部附属病院	2,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人　筑波大学)
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学部附属病院	2,000,000	補 委	独立行政法人　国立がん研究センター
軽症・中等症血友病、および保因者女性の臨床解析、ガイドラインへの応用	松本剛史	医学部附属病院	2,200,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(学校法人　自治医科大学)
次世代型人工椎間板の開発	明田浩司	医学部附属病院	1,852,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立大学法人　名古屋大学)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	淺沼邦洋	医学部附属病院	230,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立大学法人　岡山大学)
先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	200,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立大学法人　大阪大学)
機能獲得変異の病態機能解析	荻原義人	医学部附属病院	1,500,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立研究開発法人　国立循環器病研究センター)
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3(追跡)	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補 委	公益財団法人　日本糖尿病財団
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	淺沼邦洋	医学部附属病院	400,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立大学法人　大分大学)
非弁膜症性心房細動患者に対する抗凝固療法治療実態に関する三重地域圏統合型医療情報データベース(Mie-Lip　DB)を用いた疫学研究	西村有起	医学部附属病院	76,923	補 委	学校法人　武蔵野大学
平成31年度HIV感染者等保健福祉相談事業(エイズ中核拠点病院相談事業)	大石晃嗣	医学部附属病院	750,000	補 委	公益財団法人　エイズ予防財団
乳がん治療における心臓合併症の新たなリスク因子の解明と早期診断法と評価法標準化の確立	土肥薫	医学部附属病院	230,770	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(国立大学法人　東北大学)
早期胃癌に対する画期的な個別的・超低侵襲手術法の開発と検証／適格例の登録とプロトコール治療	大井正貴	医学部附属病院	500,000	補 委	国立研究開発法人　医療研究開発機構(学校法人　慶応義塾)

小計

18件

21,211,685 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
早期胃癌に対するセンチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断と個別化手術の有用性に関する臨床試験	大井正貴	医学部附属病院	103,000	補	学校法人　慶応義塾	
肺高血圧症患者レジストリ	土肥薫	医学部附属病院	15,385	補	学校法人　国際医療福祉大学	
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補	国立研究開発法人　国際医療研究センター	
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験　ACHIEVE Trail(JFMC47-1202-C3)	問山裕二	医学部附属病院	8,308	補	公益財団法人　がん集学的治療研究財団	
第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第Ⅲ相国際共同臨床研究	豊田秀実	医学部附属病院	9,472	補	独立行政法人　国立病院機構名古屋医療センター	
再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	問山裕二	医学部附属病院	16,616	補	公益財団法人　がん集学的治療研究財団	
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	伊藤正明	医学部附属病院	56,642	補	公益在団法人　循環器病研究振興財団	
分化型甲状腺癌を対象としたレンバチニブの治療効果探索のためのコホート研究	水野聡朗	医学部附属病院	66,461	補	公益財団法人　パブリックヘルスリサーチセンター	
早期関節リウマチ患者における初期治療効果反応性による治療強化の予後予測に関する研究	若林弘樹	医学部附属病院	76,923	補	国立大学法人　名古屋大学	
医科歯科連携推進人材育成事業	中瀬一則	医学部附属病院	398,525	補	三重県	
感染対策支援ネットワーク事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	799,700	補	三重県	
基幹型認知症疾患医療センター運営事業	冨本秀和	医学部附属病院	8,074,000	補	三重県	
がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	中瀬一則	医学部附属病院	1,810,000	補	三重県	
がん検診受診促進・精度管理事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	5,947,000	補	三重県	
地域がん登録情報活用事業	中瀬一則	医学部附属病院	21,908,260	補	三重県	
肝疾患診療地域連携体制強化事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	12,850,000	補	三重県	
肝炎情報センター戦略的強化事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	2,138,000	補	国立研究開発法人　国立国際医療研究センター肝炎情報センター	
医療的ケアを必要とする障がい児・者の地域連携・人材育成事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,991,000	補	三重県	小計
認知症ｻﾎﾟｰﾄ医ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修事業	吉丸公子	医学部附属病院	338,462	補	公益社団法人　三重県医師会	19件 56,907,754 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
周産期医療ネットワークシステム運営研究事業(妊産婦)	池田智明	医学部附属病院	3,832,950	補 (委)	三重県	
地域医療支援センターキャリア形成支援事業	岡本隆二	医学部附属病院	43,500,000	補 (委)	三重県	
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務	大石晃嗣	医学部附属病院	700,000	補 (委)	三重県	
認知症サミット in Mie フォローアップ事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	2,352,000	補 (委)	三重県	
難病医療ネットワーク整備事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	4,160,150	補 (委)	三重県	
看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	902,000	補 (委)	三重県	
慢性疼痛診療体制構築モデル事業	丸山一男	医学部附属病院	2,500,000	補 (委)	学校法人　愛知医科大学	
看護師の特定行為に係る研修機関導入促進策の検証に関するデータ収集事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	3,899,720	補 (委)	厚生労働省	
がん診療連携拠点病院機能強化事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	42,416,000	(補) 委	厚生労働省	
小児がん拠点病院機能強化事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	36,898,000	(補) 委	厚生労働省	
がんゲノム診療連携拠点病院事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	16,545,000	(補) 委	厚生労働省	
三重県新人看護職員研修事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	1,893,000	(補) 委	三重県	
臨床研修事業(医師)	伊佐地秀司	医学部附属病院	7,693,000	(補) 委	三重県	
防災訓練等参加支援事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	250,000	(補) 委	三重県	
津市こども救急教育事業	今井寛	医学部附属病院	250,000	(補) 委	津市	
地域研統合型医療情報データベース構築事業	伊藤正明	医学部附属病院	4,770,000	(補) 委	三重県	
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	7,057,000	(補) 委	三重県	
ICTを活用した緊密ながん医療連携推進事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	220,000	(補) 委	三重県	小計
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	16,472,000	(補) 委	三重県	19件 196,310,820 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
総合診療医広域育成拠点整備事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	1,300,000	補委	三重県
救急患者退院コーディネーター事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	1,952,000	補委	三重県
救急救命士病院実習受入促進事業	伊佐地秀司	医学部附属病院	262,000	補委	三重県
脂肪肝における肝由来低エントロピー小胞による動脈硬化発症のメカニズムの解明	杉本和史	医学部附属病院	753,291	補委	独立行政法人　日本学術振興会
機能的MR撮影法による頭頸部腫瘍の診断と早期治療効果判定の検討	海野真記	医学部附属病院	1,229,255	補委	独立行政法人　日本学術振興会
肺移植におけるドナー肺長時間保存法の確立ーより長時間作動PPCの模索ー	島本亮	医学部附属病院	2,912,537	補委	独立行政法人　日本学術振興会
抗酸化剤(ミセル化TENPO)を利用した急性肺傷害治療の開発	中橋奨	医学部附属病院	1,076,062	補委	独立行政法人　日本学術振興会
腸内細菌を基盤にしたimmunoparalysisの病態形成と治療法に関する検討	増井亜紗実	医学部附属病院	2,605,268	補委	独立行政法人　日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	今井寛	医学部附属病院	30,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	岩下義明	医学部附属病院	30,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
酸化ストレス応答性lncRNAを介した薬物動態制御タンパク質の発現調節機構の解明	池村健治	医学部附属病院	1,550,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
薬物間相互作用を利用したシスプラチン腎障害の新規予防法開発	奥田真弘	医学部附属病院	250,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
糖尿病腎症におけるプロテインSによるマクロファージを介する炎症抑制機序の解析	矢野裕	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
東アジア共同によるNK/T細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口素子	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
遺伝子改変同種リンパ球による移植後再発腫瘍治療モデル開発と安全性基盤の確立	俵功	医学部附属病院	1,001,726	補委	独立行政法人　日本学術振興会
好塩基球を用いた薬疹の新規診断法の確立及びそのメカニズムの解明	欠田成人	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
統合失調症の認知障害の解明−変化検出とその抑制に着目して	元村英史	医学部附属病院	1,800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
超低線量4DシネCTによる心筋プリンシパルストレイン解析の開発と心不全への応用	北川覚也	医学部附属病院	1,455,794	補委	独立行政法人　日本学術振興会
肝動脈灌流・門脈灌流と肝細胞機能の統合的診断法の開発と肝切除術前評価への応用	市川泰崇	医学部附属病院	861,194	補委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

21,969,127 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
拡張型心筋症の詳細な病態把握に役立つ心臓MRI定量解析法の開発	石田正樹	医学部附属病院	1,058,880	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
IL-17による腫瘍間質細胞を介した乳癌肺転移促進機構の解明と治療モデルの開発	齋藤佳菜子	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
大腸癌合併潰瘍性大腸炎患者の早期診断を目指した新たなスクリーニング方法の確立	問山裕二	医学部附属病院	1,578,182	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
網羅的口腔内細菌叢の解析から検証する大腸癌発癌の機序	近藤哲	医学部附属病院	3,121,122	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
新しい非侵襲モニターによる心臓再同期療法の遠隔期予後の予測	亀井政孝	医学部附属病院	40,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
腸管壁内の生体内微小循環解析からみた壊死性腸炎の病態解明と治療戦略	小池勇樹	医学部附属病院	1,750,111	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
新人看護師のリアリティショック軽減に向けたSOCとソーシャルサポート認識への介入	石倉夏海	医学部附属病院	1,588,311	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
こどものセルフケア能力に着目した在宅生活支援モデルの検討	河俣あゆみ	医学部附属病院	293,291	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
小動物用超音波イメージングを応用した胎仔心不全の病態解明及び新規治療法の開発	三好剛一	医学部附属病院	87,240	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ガレクチン-3のくも膜下出血後早期脳損傷発生メカニズムにおける役割の解明	芝真人	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
患者視点に基づいた外科医療の質評価に関する研究	兼児敏浩	医学部附属病院	86,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	田辺正樹	医学部附属病院	200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
アポクリン癌を含むアポクリン病変診断の分子病理学的再構築	小塚祐司	医学部附属病院	2,545,940	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ポリオウイルスによる神経芽腫の新しい治療の研究	豊田秀実	医学部附属病院	1,278,699	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
肺動脈性肺高血圧の血管病変形成への血管平滑筋と炎症の関与 :ゲノム編集技術の応用	三谷義英	医学部附属病院	1,773,355	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
食塩感受性高血圧モデルにおけるSGLT2阻害の心不全進展抑制効果の検討	土肥薫	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
肺線維症とマイクロビオームの関連に関する研究	中原博紀	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
新規培養法を用いたヒトリンパ球系分化制御および腫瘍化の分子遺伝学的研究	大石晃嗣	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	小計
遊離癌細胞の生着能を利用した転移機形成序解明とあらたなHIPEC治療適応の確立	安田裕美	医学部附属病院	1,272,785	補委	独立行政法人　日本学術振興会	19件 23,473,916 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
食道癌特異的分泌型エキソソームを標的とした多目的バイオマーカーの確立	大井正貴	医学部附属病院	1,479,148	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
敗血症患者における血小板内環状RNAの解析	境倫宏	医学部附属病院	2,340,437	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
ウェアラブルセンサーを用いたICU医療者のコミュニケーション活性度の解析	今井寛	医学部附属病院	1,988,281	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
エキソソーム型トロンボモジュリンによる敗血症治療	川本英嗣	医学部附属病院	1,411,163	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
糖尿病網膜症の進行阻止における血液凝固関連因子が果たす新たな機能の解明	杣本昌彦	医学部附属病院	1,252,108	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
悪性腫瘍におけるPDE2細胞内情報伝達複合体を標的とした新規個別化治療の探索	村田琢	医学部附属病院	1,065,118	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
口腔悪性黒色腫新治療薬の開発-PDE1阻害剤の臨床応用を目指して	清水香澄	医学部附属病院	1,211,168	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
リハビリ領域における系統的レビューの基盤整備とエビデンス診療ギャップの検証	百崎良	医学部附属病院	632,940	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
マイクロMRIによる剖検脳撮像を利用した脳小血管病の病理研究と臨床MRIへの応用	石川英洋	医学部附属病院	1,224,973	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
直腸癌放射線治療におけるアブスコパル効果のEpigeneticな機序解明	井出正造	医学部附属病院	1,123,822	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
膵切除術後の残膵外内分泌機能のCTを用いた新規評価法の探索とその応用	飯澤祐介	医学部附属病院	400,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
非ウイルス性肝細胞癌の病態解明を目的としたトランスレーショナル・リサーチ	加藤宏之	医学部附属病院	1,700,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
ヒト脳脊髄液プロテオームによる全身麻酔後認知機能障害に対する創薬標的の網羅的探索	中森裕毅	医学部附属病院	2,328,721	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
集中治療後症候群の早期診断のためのウェアラブルによるICU患者継続的モニタリング	江角亮	医学部附属病院	3,200,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
ステント留置に伴う脳動脈瘤内血行力学的変化の多孔質媒体を用いた数値流体力学解析	辻正範	医学部附属病院	1,000,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
脳梗塞後、ペントラキシン3を起点とした新たな治療法の開発	新堂晃大	医学部附属病院	1,088,343	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
癌間質と去勢抵抗性前立腺癌;スプライシングバリアント制御による新規治療戦略の開発	佐々木豪	医学部附属病院	1,300,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
子宮腺筋症不妊に対するPDE5阻害薬の効果と酸化ストレスへの影響	前沢忠志	医学部附属病院	1,100,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
パーキンソン病で出現する構音障害の画像特徴-脳画像解析による出現機序の解明-	上田有紀人	医学部附属病院	978,638	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

26,824,860 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
診療関連エラーに関する考え方およびその検出法の検討	兼児敏浩	医学部附属病院	212,867	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	200,000	補委	厚生労働省	
我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究	中島亜矢子	医学部附属病院	225,000	補委	厚生労働省	
新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	900,000	補委	厚生労働省	
地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究	田辺正樹	医学部附属病院	4,457,000	補委	厚生労働省	
プロトコルに基づくオピオイド誘発性便秘に対する薬物治療管理とその評価	岡本明大	医学部附属病院	450,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
重度認知症に対する音楽体操の効果：神経心理学と脳画像解析による検討	佐藤正之	医学部附属病院	850,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
細胞外マトリックス（テネイシンC）による放射線肺障害の病態解明とその臨床応用	高田彰憲	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
哺乳動物における心腔内メカニカルストレス変化が胎児心臓成熟化に与える影響について	三好剛一	医学部附属病院	281,140	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
左心系心疾患における運動時左房機能と右室肺動脈カップリングの関連と予後予測の検討	杉本匡史	医学部附属病院	2,400,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
心肥大及び心不全発症における、ねじれ運動制御機構の解明	岡本隆二	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ヒルシュスプルング病における腸管壁内神経節細胞局在の二光子レーザー顕微鏡観察研究	内田恵一	医学部附属病院	2,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
転移性大腸癌における癌悪液質併発のエピジェネテックな機序解明	藤川裕之	医学部附属病院	2,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
赤血球による細菌防御機構の解明ー新生児赤血球のプロテオミクス解析	亀井政孝	医学部附属病院	600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
本邦の集中治療領域における新たなQuality indicatorの構築	中橋奨	医学部附属病院	2,900,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
デュピュイトラン拘縮に対する核酸治療の導入	辻井雅也	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ヒト椎間板変性に対するエピゲノムワイド関連解析	明田浩司	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ビスフォスフォネートとカルシウム塩の結合体の粘膜為害性作用の解析	黒原一人	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	小計
地域圏統合型医療情報データベースを用いた抗菌薬適正使用の評価に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	19件 24,276,007 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	問山裕二	医学部附属病院	30,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
精神障害の親を持つ子どもの自尊心回復に向けたアプローチ―訪問型家族支援の導入―	鈴木大	医学部附属病院	100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
ヒト剖検脳とモデルマウスを用いた脳アミロイド血管症の病態解明	水谷あかね	医学部附属病院	600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
パーキンソン病におけるMRI画像と高次機能の関連	松浦慶太	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
胎児発育不全妊婦のMRIによる胎盤、胎児の酸素濃度変動測定とタダラフィルの効果	二井理文	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
周産期侵襲の肺動脈性肺高血圧の発症への関与：エピゲノムを介する分子機序	大矢和伸	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
人工知能を用いた、胸部X線写真から血行動態指標を予測する方法の開発	鳥羽修平	医学部附属病院	2,400,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
マトリックスメタロプロテイナーゼ2が腎線維化に与える影響の解明	西濵康太	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
細胞間接着分子発現抑制を介した脂肪肝虚血再灌流障害機序の解明	藤井武宏	医学部附属病院	600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
最新人工心肺における吸入麻酔薬投与システムの確立	住吉美穂	医学部附属病院	200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
敗血症と白血球核DNAエントロピー：人工知能による核DNA画像特徴の試み	坂倉庸介	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
敗血症性肺傷害における2型自然リンパ球の炎症制御機構とその集積メカニズムの解明	赤間悠一	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
敗血症性ミオパチー：骨格筋とレジデントマクロファージのクロストーク	池尻薫	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
敗血症診療体制樹立～地域特性を活かした敗血症診療ネットワーク構築からの試み～	鈴木圭	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
マトリセルラー蛋白を標的としたくも膜下出血後脳損傷の新規診断法の開発	西川拓文	医学部附属病院	800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
生体内より摘出された抗酸化剤添加ポリエチレンの物質構造の変化	刀根慎恵	医学部附属病院	2,200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
胎児発育不全の改善に果たすタダラフィルの作用機序の解明	田中博明	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
胎盤機能不全におけるタダラフィル投与による病態改善機序の解明	真木晋太郎	医学部附属病院	1,700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
泌尿器腫瘍の診断・治療のための生体膜修飾で拓くナノキャリアのプラットホーム作製	林昭伸	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

22,530,000 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
骨格筋-脳コミュニケーション異常と敗血症関連脳症：骨格筋エキソソームの役割解明	川本英嗣	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用	珠玖洋	医学系研究科	3,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
発達期と成熟後のスクラップ＆ビルドによる小脳神経回路の動的制御	溝口明	医学系研究科	3,500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
掌握運動が左室駆出率が保持された心不全患者の血圧や運動耐容能に与える効果の検討	藤本直紀	医学系研究科	1,106,797	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
高解像度3次元血管壁MRIによる頸部頸動脈プラークの定量法の開発	前田正幸	医学系研究科	598,362	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
放射線治療後の心臓障害の診断システムの開発と臨床応用	野本由人	医学系研究科	913,831	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
新たなコンセプトに基づいたph反応性リポソームによる悪性骨軟部腫瘍への治療戦略	淺沼邦洋	医学系研究科	449,132	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
イカ巨大軸索・マウス軸索を用いた即時軸索機能回復のための軸索融合法に関する研究	成島三長	医学系研究科	1,607,362	補委	国立大学法人　東京大学	
疲労・細胞外小胞マーカーを用いた心身双方の疾患予防に関する調査・介入研究	江口暁子	医学系研究科	800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
中壮年からのロコモ検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	600,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
十二指腸濾胞性リンパ腫における腫瘍形成機構の解明と腫瘍起源の探索	宮﨑香奈	医学系研究科	1,204,820	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
アルコール性肝障害における動脈硬化発症機序の解明：肝由来小胞体封入病態情報の関与	竹井謙之	医学系研究科	1,401,768	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
浸潤性膵管癌の生物学的悪性度からみた新規臨床病期システムの確立とその治療応用	伊佐地秀司	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
膠原病関連境界型肺高血圧症の進行予測因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学系研究科	2,343,171	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
MUC5B過剰発現マウスを用いた肺線維症の病態解明と治療法の開発	田口修	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
WT1を標的とした急性骨髄性白血病のキメラ抗原受容体発現T細胞療法の基盤構築	片山直之	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
新規キメラ型抗原受容体遺伝子を用いる成人T細胞白血病に対する免疫療法	藤原弘	医学系研究科	300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	
BMPR2遺伝子改変ラットを用いた肺高血圧血管病変形成機序の解明	澤田博文	医学系研究科	1,495,200	補委	独立行政法人　日本学術振興会	小計
重症皮膚炎の合併症としての関節症、内臓病変の成因の追求と治療法の検討	山中恵一	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会	19件 24,720,443 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Abscopal効果の効果的な照射/ワクチン最適注射臓器の探索	渡辺隆	医学系研究科	1,417,625	補委	独立行政法人　日本学術振興会
エクソソームに包埋された核酸を用いた胃癌早期診断法の確立	吉山繁幸	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
腫瘍関連好中球に着目した胃癌リンパ節転移機構の解明と新規治療法の開発	毛利靖彦	医学系研究科	800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
3次元血流領域における流れの複雑性の定量による脳動脈瘤増大・破裂機序の解明	鈴木秀謙	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
テネイシンCのドメイン(TNIIIA2)を用いた軟骨治療への応用	長谷川正裕	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
麻酔手技の定量化と人工知能を用いた自動解析による学習効果の判定に関する研究	宮部雅幸	医学系研究科	1,883,370	補委	独立行政法人　日本学術振興会
実験的肺高血圧に対するTRPVチャネルを標的とした解析と治療	丸山一男	医学系研究科	1,350,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
前立腺増殖機構の安定化を目指した間質分化誘導療法の開発	杉村芳樹	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
嗅粘膜移植と炎症制御による神経再生を併用する神経性嗅覚障害の新規治療法開発研究	小林正佳	医学系研究科	2,455,449	補委	独立行政法人　日本学術振興会
皮膚電極網膜電図装置を用いた網膜内層機能の評価とその汎用性の検討	生杉謙吾	医学系研究科	1,579,319	補委	独立行政法人　日本学術振興会
多職種連携カンファレンスに必要とされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	後藤道子	医学系研究科	226,736	補委	独立行政法人　日本学術振興会
多職種連携カンファレンスに必要とされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	若林英樹	医学系研究科	50,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
新規デスミンリン酸化不全遺伝子改変マウスにおける筋組織形成・機能の解析	山川大史	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
リケッチア感染症のTh2免疫系の抑制機序に関する研究	近藤誠	医学系研究科	1,076,729	補委	独立行政法人　日本学術振興会
電子線トモグラフィーと結晶学を組み合わせた膜タンパク質の構造解析手法の確立	谷一寿	医学系研究科	1,600,000	補委	国立大学法人　名古屋大学
視細胞変性疾患における網膜電図(ERG)の新しい概念確立に関する研究	近藤峰生	医学系研究科	2,028,022	補委	独立行政法人　日本学術振興会
脂質代謝異常に着目した新規前立腺癌診断・治療の開発	井上貴博	医学系研究科	373,556	補委	独立行政法人　日本学術振興会
遺伝性網膜疾患の中型-大型動物モデルの拠点形成と新規治療法開発	近藤峰生	医学系研究科	2,200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
おいしさを形成する多感覚統合の解明	小林正佳	医学系研究科	400,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

22,840,806 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
イモリ型の臓器再生を可能にする体細胞リプログラミング因子の解明と医学への展開	成島三長	医学系研究科	10,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
病理診断確定症例家系に依拠した紀伊ALS・パーキンソン認知症複合の疾患概念確立	佐々木良元	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
人工知能により冠動脈MRAから冠血流予備量比を計測するMR-FFR法の開発	佐久間肇	医学系研究科	892,902	補委	独立行政法人　日本学術振興会
一次線毛動態制御による新たな膵癌治療法の開発	山田玲子	医学系研究科	1,123,295	補委	独立行政法人　日本学術振興会
副腎アルドステロン産生に対するバゾプレシンV2受容体拮抗薬の新しい薬理作用の解明	伊藤正明	医学系研究科	1,200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
周産期心筋症の早期診断のためのバイオマーカー検査確立研究	池田智明	医学系研究科	68,704	補委	独立行政法人　日本学術振興会
肺静脈閉塞症類似実験的肺高血圧における肺静脈・肺細静脈の病態解析	丸山一男	医学系研究科	200,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
白血病に対するネオアンチゲン特異的な革新的遺伝子改変ヘルパーT細胞療法の開発	藤原弘	医学系研究科	1,452,109	補委	独立行政法人　日本学術振興会
胃癌腹膜播種進展におけるRNA後天的修飾の意義	沖上正人	医学系研究科	1,293,623	補委	独立行政法人　日本学術振興会
潰瘍性大腸炎関連癌におけるRNAメチル化マーカーの臨床的意義	井上靖浩	医学系研究科	904,875	補委	独立行政法人　日本学術振興会
アブスコパル効果の概念から考案した腹腔内温熱化学療法の有効性の検討	三木誓雄	医学系研究科	1,767,960	補委	独立行政法人　日本学術振興会
胃癌における臓器特異性転移におけるエピゲノムのあらたな役割解明	川村幹雄	医学系研究科	1,413,843	補委	独立行政法人　日本学術振興会
原子間力顕微鏡を用いた血管の「硬さ」測定による動脈硬化病変の評価法の確立	松尾映里	医学系研究科	920,849	補委	独立行政法人　日本学術振興会
全ての下肢荷重関節における運動器疾患とロコモ・介護度・運動機能との関連性	須藤啓広	医学系研究科	1,500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	897,710	補委	独立行政法人　日本学術振興会
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	897,710	補委	独立行政法人　日本学術振興会
4年間の地域包括的ケア体験学習プログラムの構築と看護OSCEによる評価	後藤道子	医学系研究科	136,628	補委	独立行政法人　日本学術振興会
ヒトT細胞エクソソームのmiRNAsによるISG誘導作用とがん間質抑制機構の解明	百瀬文康	医学系研究科	2,773,797	補委	独立行政法人　日本学術振興会
iPS細胞からミュラー管細胞への分化機序の解明：新規不妊治療法の創出を目指して	武内大輝	医学系研究科	1,800,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

19,354,005 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
超微小血管外科手技による動物リンパ液鬱滞モデル作成とリンパ浮腫発生機序の解明	石浦良平	医学系研究科	1,475,704	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
エクソソームのがん間質傷害作用を利用した腫瘍浸潤がん細胞傷害性T細胞の最適化	瀬尾尚宏	医学系研究科	3,261,248	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
脳アミロイド血管症の末梢血バイオマーカーと認知症根本治療法の確立を目指した研究	冨本秀和	医学系研究科	4,300,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
腫瘍細胞とキメラ抗原受容体T細胞のエネルギー代謝の相違に着目した次世代細胞治療	三輪 啓志	医学系研究科	1,100,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
機能性疾患病態生理仮説に従ったアストロサイト分極誘導と三者間伝達機能の解析研究	岡田元宏	医学系研究科	1,700,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
CX3CR1陽性単球の大腸炎関連大腸癌発症における分子病態生理学的役割の解明	桝屋正浩	医学系研究科	1,200,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
薬剤性心筋症早期診断を目指した非侵襲的心筋組織性状評価法の有用性の検討	中森史朗	医学系研究科	1,800,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
遺伝子改変マウスC/EBPβを用いた移植後慢性GVHDの病態解明と新規治療	平山雅浩	医学系研究科	1,200,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
大腸癌転移進展におけるあらたなNon-coding RNAによる機序解明	今岡裕基	医学系研究科	1,300,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
大腸癌・潰瘍性大腸炎関連癌における後天的RNA修飾マーカーの有用性	奥川喜永	医学系研究科	1,600,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
プライマリーCD4T同時輸注によるCEAを標的としたCAR-T療法の増強と機序	王立楠	医学系研究科	1,400,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
癌合併クローン病に対するmicroRNAによる非侵襲的診断マーカーの開発	荒木俊光	医学系研究科	2,100,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
大腸癌Tumor Buddingを同定する新たなエピゲノムマーカーの開発	廣純一郎	医学系研究科	1,900,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
胎児発育不全に対するタダラフィル投与の安全性に関する分子基盤の確立	池田智明	医学系研究科	1,100,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
遺伝子パネルと全エクソーム解析による原発性線毛運動不全症の原因遺伝子の解析	竹内万彦	医学系研究科	1,050,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
味細胞情報伝達機構の可逆的障害による味覚障害発症メカニズムの解明	西田幸平	医学系研究科	900,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
マウスを用いたin vivo 細胞融合法による神経軸索即時機能回復法の検討	成島三長	医学系研究科	1,300,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	田中光司	医学系研究科	30,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	奥川喜永	医学系研究科	30,000	(補)委	独立行政法人　日本学術振興会

小計

19件

28,746,952 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
コホート保存検体RNA解析による消化器癌・肺癌早期診断マーカーに関する研究	三木誓雄	医学系研究科	20,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
大腸癌Sarocopenia発症のエピゲノム機序解明と新たなバイオマーカーの開発	三枝　晋	医学系研究科	2,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
マダニ中のリケッチア存在有無による行動変貌の調査及びミノサイクリン適正利用の研究	近藤誠	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
Effect of LARGE1 systemic gene delivery by adeno-associated virus on metastatic potential	米川貴博	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
生体肝移植術後の血栓性微小血管障害症の病態解明とグラフト肝機能の改善を目指して	種村彰洋	医学系研究科	500,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
間質性肺炎合併肺癌で2型自然リンパ球が果たす2つの役割：線維化促進と腫瘍免疫抑制	伊藤温志	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
テネイシンCに着目したてんかん原性獲得過程の病態解明	市川尚己	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
前立腺癌の去勢抵抗性獲得におけるCD105が関連する内皮間葉分化転換の役割	加藤学	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
就労と治療の両立に関する労働者用リテラシー教育方略の開発と教育効果の測定	市川周平	医学系研究科	1,700,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
難治性食道癌に有効なCAR-T療法のための最適なT細胞選択	影山愼一	医学系研究科	2,100,000	補委	独立行政法人　日本学術振興会
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	補委	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	近藤峰生	医学系研究科	400,000	補委	厚生労働省
学校の療養生活の場における医療的ケア児への質の高い医療的ケアの提供に資する研究	岩本彰太郎	医学系研究科	800,000	補委	厚生労働省
小児がん拠点病院等の連携による移行期を含めた小児がん医療提供体制整備に関する研究	平山雅浩	医学系研究科	400,000	補委	厚生労働省
乳幼児突然死症候群（SIDS）を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究	加藤稲子	医学系研究科	450,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	補委	厚生労働省
慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	丸山一男	医学系研究科	200,000	補委	厚生労働省
成人発症白質脳症の実際と有効な医療施策に関する研究班	冨本秀和	医学系研究科	2,200,000	補委	厚生労働省
小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究	岩本彰太郎	医学系研究科	250,000	補委	厚生労働省

小計

19件

17,620,000 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療体制の均てん	池田智明	医学系研究科	300,000	補 委	厚生労働省
周産期医療の質の向上に寄与するための、妊産婦及び新生児の管理と診療連携体制	池田智明	医学系研究科	3,858,000	補 委	厚生労働省
産婦死亡に関する情報の管理体制の構築及び予防介入の展開に向けた研究	池田智明	医学系研究科	3,231,000	補 委	厚生労働省
変形性膝関節症における疾患構成要素および重症度に基づくリスク多型と疾患感受性遺伝子解析	須藤啓広	医学系研究科	200,000	補 委	公益財団法人　日本整形外科学会(国立大学法人　京都大学)
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	丸山一男	医学系研究科	11,007,000	補 委	文部科学省
高度がん医療を先導するがん医療人養成	片山直之	医学系研究科	15,477,000	補 委	文部科学省(京都大学)
東海国立大学病院機構CSTネットワーク事業	当麻 直樹	医学系研究科	3,256,000	補 委	文部科学省(名古屋大学)
三重県における自殺者数の経年推移の特性解析	岡田元宏	医学系研究科	1,000,000	補 委	三重県
クライオ電子顕微鏡を用いた膜タンパク質の高分解能動的構造解析と技術人材育成支援	谷一寿	医学系研究科	13,363,637	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
三重県プライマリ・ケアセンター事業	片山直之	医学系研究科	9,630,000	補 委	三重県
医療・介護資源の不足する地域における多職種連携推進事業委託	片山直之	医学系研究科	1,360,000	補 委	三重県
生活習慣病予防重点プロジェクト事業業務委託	伊藤正明	医学系研究科	4,615,385	補 委	名張市
慢性脳虚血モデルとCAA患者のAPP770の解析	冨本秀和	医学系研究科	1,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(公立大学法人　福島県立医科大学)
T細胞エクソソームによるがん転移阻害剤	珠玖洋	医学系研究科	23,077,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
T細胞レセプター疑似抗体及びGITR細胞内ドメインを利用した革新的CAR-T細胞輸注療法の開発	宮原慶裕	医学系研究科	77,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
生体組織病変のリアルタイム光バイオプシを可能とする、生体染色と共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた迅速画像病理診断技術の開発	溝口明	医学系研究科	42,230,767	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
医薬品等の動物試験代替法の開発及び国際標準化等に関する研究	田中利男	医学系研究科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の多施設共同医師主導治験	影山愼一	医学系研究科	96,125,381	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構
糖鎖を基軸とするエクソソームの多様性解析と生体応答・制御の為の基盤研究	瀬尾尚宏	医学系研究科	14,000,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構

小計

19件

323,231,170 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
成人T細胞白血病/リンパ腫に対する遺伝子改変細胞輸注療法	宮原慶裕	医学系研究科	9,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構	
遠隔臓器間の病態伝播を担う内在性微粒子micropparticleの機能解明	江口暁子	医学系研究科	12,746,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構	
RNF213 p.R4810K多型判定の国内拠点形成	冨本秀和	医学系研究科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立循環器病研究センター)	
認知症疾患医療センターの患者分析による連携機能の強化	冨本秀和	医学系研究科	923,077	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)	
神経内科領域のデータ収集と解析	冨本秀和	医学系研究科	33,835	補 委	国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター	
耳鼻咽喉科領域のデータ収集と解析	竹内万彦	医学系研究科	197,188	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)	
適格患者の登録、バイオバンク保存検体解析、高齢ホジキンリンパ腫の病態解析	宮﨑香奈	医学系研究科	700,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)	
認知症と脳血管障害の発症を予測し脳小血管病を反映しうる新規バイオマーカーのエビデンス確立	冨本秀和	医学系研究科	400,000	補 委	国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター	
網膜視神経の電気生理学的検討による薬効評価	近藤峰生	医学系研究科	3,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立成育医療研究センター)	
電気生理学的検査による評価(眼科)　新生児、乳幼児のスクリーニングと健診(小児科)	近藤峰生	医学系研究科	1,400,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立成育医療研究センター)	
周産期心筋症レジストリ研究(臨床データ・患者生体試料収集)の継続実施と国循バイオバンク連携体制の構築	池田智明	医学系研究科	600,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立研究開発法人国立循環器病研究センター)	
小児AMLに対するフローサイトメトリー法を用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人京都大学)	
小児ダウン症合併骨髄性白血病(ML-DS)に対するフローサイトメトリー法を用いた微小残存病変(FCM-MRD)測定法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人滋賀医科大学)	
妊婦の血清学的なリスク診断法(CMV,トキソ)	池田智明	医学系研究科	400,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人　東京大学)	
ATLLに対するTCR遺伝子導入リンパ球輸注療法の第Ⅰ相医師主導治験	片山直之	医学系研究科	1,277,220	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人長崎大学)	
個別がん変異に対するT細胞応答およびネオアンチゲンエピトープ解析と、それらを用いた革新的個別がん免疫療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	2,615,385	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人長崎大学)	
機械学習を用いたクライオ電子顕微鏡の撮影効率化	谷一寿	医学系研究科	2,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人東京大学)	
妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築によるフィールドトライアル	池田智明	医学系研究科	2,000,000	補 委	国立大学法人　愛媛大学	小計
遺伝性網脈絡膜疾患、家族性緑内障、先天性視神経委縮症の症例情報と検体の収集	竹内万彦	医学系研究科	3,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(国立大学法人京都大学)	19件 43,792,705 円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
電子顕微鏡による微細構造解析支援	溝口明	医学系研究科	4,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(公益財団法人神戸医療産業都市推進)機構	
ATL に対するT 細胞受容体遺伝子導入細胞療法の開発のためのT 細胞受容体発現の改善、RS 戦略相談および医師主導治験の準備	珠玖洋	医学系研究科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(学校法人自治医科大学)	小計
生体肝移植後のde novo 肝癌発生と肝炎治療	水野修吾	医学系研究科	153,847	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(学校法人福岡学園　福岡歯科大学)	3件 153,847 円

合計

287件

879,964,097 円

(注)

1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Tanaka K, Tanaka H, Maki S, et al.	産科婦人科学	Cardiac function and tadalafil used for treating fetal growth restriction in pregnant women without cardiovascular disease.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Aug. 32(15):2460-2462. 2018 Feb 20.	Original Article
2	Kaneda M, Tanaka H, Maki S, et al.	産科婦人科学	Placental growth factor as a predictor of the efficacy of tadalafil treatment for fetal growth restriction.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Sep. 32(17):2879-2882. 2018 Mar 26.	Original Article
3	Tanaka H, Furuhashi F, Toriyabe K, et al.	産科婦人科学	Management of fetal growth restriction using the contraction stress test: a case-control study.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Oct. 32(19):3221-3225. 2018 Apr 18.	Original Article
4	Yoshiyama S, Toiyama Y, Ichikawa T, et al.	消化管・小児外科学	Laparoscopic diagnosis of retrograde peristalsis and intussusception in Roux-en-Y limb after laparoscopic gastrectomy: A case report.	Asian journal of endoscopic surgery. 2019 Apr. 12(2):171-174. 2018 Jun 5.	Case report
5	Yasukochi Y, Sakuma J, Takeuchi I, et al.	ヒト機能ゲノミクス部門	Identification of six novel susceptibility loci for dyslipidemia using longitudinal exome-wide association studies in a Japanese population.	Genomics. 2019 Jul. 111(4):520-533. 2018 Jun 4.	Original Article
6	Furuhashi F, Tanaka H, Kaneda M, et al.	産科婦人科学	Safety trial of tadalafil administered for the treatment of preeclampsia.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2020 Jan. 33(1):167-170. 2018 Jul 22.	Original Article
7	Morishita H, Kobayashi M, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Endoscopic endonasal transmaxillary ligation of a feeding artery and coblation plasma technology enables en bloc resection of advanced juvenile nasopharyngeal angiofibroma without preoperative embolization.	Auris Nasus Larynx. 2019 Apr. 46(2):306-310. 2018 Jul 3.	Original Article
8	Nakamura S, Kitagawa K, Goto Y, et al.	放射線医学	Incremental Prognostic Value of Myocardial Blood Flow Quantified With Stress Dynamic Computed Tomography Perfusion Imaging.	JACC: Cardiovascular Imaging. 2019 Jul. 12(7 Pt 2):1379-1387. 2018 Jul 18.	Original Article
9	Suzuki H, Nakatsuka Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科学	Dose-Dependent Inhibitory Effects of Cilostazol on Delayed Cerebral Infarction After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Translational Stroke Research. 2019 Aug. 10(4):381-388. 2018 Jul 23.	Original Article
10	Kawamoto E, Ito A, Eguchi A, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Integrin and PD-1 Ligand Expression on Circulating Extracellular Vesicles in Systemic Inflammatory Response Syndrome and Sepsis.	Shock (Augusta, Ga.). 2019 Jul. 52(1):13-22.	Original Article
11	Sakamoto S, Kanemitsu S, Shimpo H, et al.	胸部心臓血管外科学	Tiny ruptured coronary aneurysm with coronary-pulmonary arterial fistula.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 2019 Dec. 67(12):1084-1086. 2018 Aug 20.	Original Article
12	Suzuki H, Fujimoto M, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Tenascin-C in brain injuries and edema after subarachnoid hemorrhage: Findings from basic and clinical studies.	Journal of Neuroscience Research. 2020 Jan. 98(1):42-56. 2018 Sep 22.	Review
13	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化管・小児外科学	Close Relationship Between Immunological/Inflammatory Markers and Myopenia and Myosteatosis in Patients With Colorectal Cancer: A Propensity Score Matching Analysis.	Journal of Parenteral and Enteral Nutrition. 2019 May. 43(4):508-515. 2018 Oct 18.	Original Article
14	Nakano F, Kawakita F, Liu L, et al.	脳神経外科学	Anti-vasospastic Effects of Epidermal Growth Factor Receptor Inhibitors After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Molecular Neurobiology. 2019 Jul. 56(7):4730-4740. 2018 Oct 31.	Original Article
15	Sakuma H.	放射線医学	2D Flow CMR for Risk Assessment in Coronary Artery Disease: An Alternative to PET?	JACC: Cardiovascular Imaging. 2019 Aug. 12(8 Pt 2):1696-1698. 2018 Nov 5. No abstract available.	Others
16	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Prevalence of Persistent Pain after Total Knee Arthroplasty and the Impact of Neuropathic Pain.	Journal of Knee Surgery. 2019 Oct. 32(10):1020-1023. 2018 Nov 9.	Original Article
17	Sawada H, Mitani Y, Nakayama T, et al.	小児科学	Detection of Pediatric Pulmonary Arterial Hypertension by School Electrocardiography Mass Screening.	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine. 2019 Jun 1. 199(11):1397-1406.	Original Article
18	Koike Y, Uchida K, Inoue M, et al.	消化管・小児外科学	Early first episode of pouchitis after ileal pouch-anal anastomosis for pediatric ulcerative colitis is a risk factor for development of chronic pouchitis.	Journal of Pediatric Surgery. 2019 Sep. 54(9):1788-1793. 2018 Oct 30.	Original Article
19	Nishimura A, Ohtsuki M, Kato T, et al.	スポーツ整形外科学講座	Locomotive syndrome testing in young and middle adulthood.	Modern Rheumatology. 2020 Jan. 30(1):178-183. 2019 Jan 3.	Original Article
20	Hamada Y, Tanaka K, Yamada R.	消化器内科学	Gastric Schwannoma Detected by Chest Radiograph.	Clinical Gastroenterology and Hepatology. 2020 Mar. 18(3):A26-A27. 2018 Dec 6.	Original Article
21	Okada K, Kakeda M, Yamamoto S, et al.	皮膚科学	Infantile bullous pemphigoid successfully treated with i.v. immunoglobulin and cyclosporin.	Journal of Dermatology. 2019 Jun. 46(6):e213-e214. 2018 Dec 7. No abstract available.	Letter
22	Hamdy A, Kitagawa K, Goto Y, et al.	放射線医学	Comparison of the different imaging time points in delayed phase cardiac CT for myocardial scar assessment and extracellular volume fraction estimation in patients with old myocardial infarction.	International Journal of Cardiovascular Imaging. 2019 May. 35(5):917-926. 2018 Dec 18.	Original Article

小計22件

23	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器内科学	Solitary Rectal Metastasis from Primary Gastric Cancer.	Internal Medicine. 2019 Apr 1. 58(7):1037-1038. 2018 Dec 18. No abstract available.	Others	
24	Higashigawa T, Kato N, Nakajima K, et al.	放射線医学	Thoracic endovascular aortic repair for retrograde type A aortic dissection.	Journal of Vascular Surgery. 2019 Jun. 69(6):1685-1693. 2019 Jan 3.	Original Article	
25	Ito M, Ishimitsu T, Ichihara A, et al.	循環器・腎臓内科学	JSH Statement: Kyoto declaration on hypertension research in Asia.	Hypertension Research. 2019 Jun. 42(6):759-760. 2019 Jan 7. No abstract available.	Others	
26	Kanamaru H, Kawakita F, Nakano F, et al.	脳神経外科学	Plasma Periostin and Delayed Cerebral Ischemia After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Neurotherapeutics. 2019 Apr. 16(2):480-490.	Original Article	
27	Ito A, Shindo A, Ii Y, et al.	神経病態内科学	Small Cortical Infarcts Transformed to Lobar Cerebral Microbleeds: A Case Series.	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases. 2019 Apr. 28(4):e30-e32. 2019 Jan 14.	Original Article	
28	Fukuoka S, Kurita T, Dohi K, et al.	循環器・腎臓内科学	Untangling the obesity paradox in patients with acute myocardial infarction after primary percutaneous coronary intervention (detail analysis by age).	International Journal of Cardiology. 2019 Aug 15. 289:12-18. 2019 Jan 4.	Original Article	
29	Wakabayashi H, Kato S, Nagao N, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Interleukin-6 Inhibitor Suppresses Hyperalgesia Without Improvement in Osteoporosis in a Mouse Pain Model of Osteoporosis.	Calcified Tissue International. 2019 Jun. 104(6):658-666. 2019 Jan 21.	Original Article	
30	Suzuki K, Matsumoto T, Iwashita Y, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Clinicopathological features of TAFRO syndrome complicated by acquired hemophilia A and development of cardiopulmonary arrest that were successfully treated with VA-ECMO and tocilizumab.	International Journal of Hematology. 2019 Jun. 109(6):737-743. 2019 Jan 24.	Original Article	
31	Ohi M, Toiyama Y, Omura Y, et al.	消化管・小児外科学	Possibility of limited gastrectomy for early gastric cancer located in the upper third of the stomach, based on the distribution of sentinel node basins.	Surgery Today. 2019 Jun. 49(6):529-535. 2019 Jan 25.	Original Article	
32	Katsurahara M, Yamada R, Inoue H, et al.	光学医療診療部	Gastrointestinal: A case of small bowel obstruction caused by a bezoar, preoperatively found by double-balloon enteroscopy.	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia). 2019 Jun. 34(6):962. 2019 Jan 28. Review. No abstract available.	Review	
33	Mitsui K, Banda C, Ishiura R, et al.	形成外科学	Intranodal lymphangiography with indocyanine green: Application in lymph node transfer and beyond.	Journal of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery. 2019 Apr. 72(4):685-710. 2019 Jan 15. No abstract available.	Letter	
34	Chino S, Kato N, Nakajima K, et al.	放射線医学	Thoracic endovascular aortic repair for the treatment of ruptured acute type B aortic dissection.	Japanese Journal of Radiology. 2019 Apr. 37(4):321-327. 2019 Feb 2.	Original Article	
35	Tanahashi S, Yamamura S, Nakagawa M, et al.	精神神経科学	Corrigendum to "Dopamine D2 and serotonin 5-HT1A receptors mediate the actions of aripiprazole in mesocortical and mesoaccumbens transmission" [Neuropharmacology 62 (2012) 765-774].	Neuropharmacology. 2019 Apr. 148:406. 2019 Feb 4. No abstract available.	Others	
36	Koike Y, Uchida K, Inoue M, et al.	消化管・小児外科学	Predictors for Pouchitis After Ileal Pouch-Anal Anastomosis for Pediatric-Onset Ulcerative Colitis.	Journal of Surgical Research. 2019 Jun. 238:72-78. 2019 Feb 8.	Original Article	
37	Kawamoto E, Nago N, Okamoto T, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Anti-adhesive effects of human soluble thrombomodulin and its domains.	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2019 Apr 2. 511(2):312-317. 2019 Feb 15.	Original Article	
38	Uchida K, Inoue M, Koike Y, et al.	消化管・小児外科学	Complementary and alternative medicine use in treating pediatric surgical diseases including inflammatory bowel disease.	Pediatrics and Neonatology. 2019 Apr. 60(2):231. 2019 Jan 29. No abstract available.	Letter	
39	Ali Y, Dohi K, Okamoto R, et al.	循環器・腎臓内科学	Novel molecular mechanisms in the inhibition of adrenal aldosterone synthesis: Action of tolvaptan via vasopressin V(2) receptor-independent pathway.	British Journal of Pharmacology. 2019 May. 176(9):1315-1327. 2019 Apr 7.	Original Article	
40	Okada M, Fukuyama K, Kawano Y, et al.	精神神経科学	Effects of acute and sub-chronic administrations of guanfacine on catecholaminergic transmissions in the orbitofrontal cortex.	Neuropharmacology. 2019 Sep 15. 156:107547. 2019 Feb 22.	Original Article	
41	Kanamaru H, Suzuki H.	脳神経外科学	Potential therapeutic molecular targets for blood-brain barrier disruption after subarachnoid hemorrhage.	Neural Regeneration Research. 2019 Jul. 14(7):1138-1143.	Review	
42	Higashikawa T, Ichikawa Y, Ishida M, et al.	放射線医学	Assessment of coronary flow velocity reserve with phase-contrast cine magnetic resonance imaging in patients with heavy coronary calcification.	Int J Cardiovasc Imaging. 2019 May. 35(5):897-905. 2019 Feb 25.	Original Article	
43	Yamaguchi M, Suzuki R.	血液・腫瘍内科学	JSH practical guidelines for hematological malignancies, 2018: II. Lymphoma-9. Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type (ENKL).	International Journal of Hematology. 2019 Apr. 109(4):371-376. 2019 Feb 28. Review. No abstract available.	Original Article	
44	Tamari K, Takeuchi H, Kobayashi M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Electrical properties of cells from human olfactory epithelium.	Auris Nasus Larynx. 2019 Oct. 46(5):734-741. 2019 Mar 5.	Original Article	
45	Yamamoto D, Sato D, Nakayama H, et al.	統合薬理学	ZF-Mapper: Simple and Complete Freeware for Fluorescence Quantification in Zebrafish Images.	Zebrafish. 2019 Jun. 16(3):233-239. 2019 Mar 11.	Original Article	
46	Sugino Y, Kato T, Furuya S, et al.	腎泌尿器外科学	The usefulness of the maximum Hounsfield units (HU) in predicting the shockwave lithotripsy outcome for ureteral stones and the proposal of novel indicators using the maximum HU.	Urolithiasis. 2020 Feb. 48(1):85-91. 2019 Mar 11.	Original Article	小計24件

47	Sugimoto T, Bandera F, Generati G, et al.	中央検査部	Left Atrial Dynamics During Exercise in Mitral Regurgitation of Primary and Secondary Origin: Pathophysiological Insights by Exercise Echocardiography Combined With Gas Exchange Analysis.	JACC: Cardiovascular Imaging. 2020 Jan. 13(1 Pt 1):25-40. 2019 Mar 13.	Original Article	
48	Fujikawa H, Toiyama Y, Inoue Y, et al.	消化管・小児外科学	Phase I study of preoperative chemoradiotherapy with sequential oxaliplatin and irinotecan with S-1 for locally advanced rectal cancer.	Oncology Letters. 2019 Apr. 17(4):3930-3936. 2019 Feb 8.	Original Article	
49	Kakimoto T, Matsumine A, Kageyama S, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Immunohistochemical expression and clinicopathological assessment of the cancer testis antigens NY-ESO-1 and MAGE-A4 in high-grade soft-tissue sarcoma.	Oncology Letters. 2019 Apr. 17(4):3937-3943. 2019 Feb 14.	Original Article	
50	Nishikawa H, Suzuki H.	脳神経外科学	Response by Nishikawa and Suzuki to Letter Regarding Article, "Modified Citrus Pectin Prevents Blood-Brain Barrier Disruption in Mouse Subarachnoid Hemorrhage by Inhibiting Galectin-3".	Stroke. 2019 May. 50(5):e137. No abstract available.	Letter	
51	Sumiyoshi M, Maeda T, Miyazaki E, et al.	臨床麻酔部	Accuracy of the ClearSight™ system in patients undergoing abdominal aortic aneurysm surgery.	Journal of Anesthesia. 2019 Jun. 33(3):364-371. 2019 Mar 23.	Original Article	
52	Mikami I, Takahashi Y, Koiwa J, et al.	システムズ薬理学講座	Zebrafish yolk sac microinjection of thalidomide for assessment of developmental toxicology.	Congenital Anomalies(Kyoto). 2019 Apr 1. (オンライン)	Others	
53	Iwashita Y.	救命救急・総合集中治療センター	Anticoagulation Strategy on Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation.	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia. 2019 Jul. 33(7):2098. 2019 Mar 29. No abstract available.	Letter	
54	Okamoto R, Kumagai E, Kai H, et al.	循環器・腎臓内科学	Effects of lowering diastolic blood pressure to <80 mmHg on cardiovascular mortality and events in patients with coronary artery disease: a systematic review and meta-analysis.	Hypertension Research. 2019 May. 42(5):650-659. 2019 Apr 5.	Original Article	
55	Shimada T, Shindo A, Matsuyama H, et al.	神経病態内科学	Chronic cerebral hypoperfusion upregulates leptin receptor expression in astrocytes and tau phosphorylation in tau transgenic mice.	Neuroscience Letters. 2019 Jun 21. 704:133-140. 2019 Apr 4.	Original Article	
56	Nakamura T, Nakamura K, Hagi T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Soft tissue sarcoma at the adductor compartment of the thigh may have a greater risk of tumor-associated events and wound complications.	Journal of Orthopaedic Surgery(Hong Kong). 2019 May-Aug. 27(2):2309499019840813.	Original Article	
57	Tsujii M, Iida R, Oshima Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Arthroscopic ligamentoplasty for osteoarthritis of the thumb carpometacarpal joints: Clinical and radiological outcomes with a minimum 2-year follow-up.	Journal of Orthopaedic Science. 2020 Mar. 25(2):241-246. 2019 Apr 6.	Original Article	
58	Hattori T, Matsumine A, Uchida K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Benign Fibrous Histiocytoma of the Talus: A Case Report.	Journal of Foot and Ankle Surgery. 2019 Jul. 58(4):762-765. 2019 Apr 6.	Case report	
59	Hamada Y, Tanaka K, Nakamura M.	消化器内科学	Unusual Case of Abdominal Fullness in a Middle-Aged Woman.	Gastroenterology. 2019 Sep. 157(3):e8-e9. 2019 Apr 6. No abstract available.	Others	
60	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器内科学	Mesh plug migration into the small intestine: An unusual cause of chronic anemia.	Digestive and Liver Disease. 2019 Jul. 51(7):1062. 2019 Apr 6. No abstract available.	Original Article	
61	Ichikawa K, Mizuno S, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科学	Prognostic Nutritional Index After Chemoradiotherapy Was the Strongest Prognostic Predictor Among Biological and Conditional Factors in Localized Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Patients.	Cancers (Basel). 2019 Apr 10. 11(4):514.	Original Article	
62	Unno H, Hasegawa M, Suzuki Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Tenascin-C promotes the repair of cartilage defects in mice.	Journal of Orthopaedic Science. 2020 Mar. 25(2):324-330. 2019 Apr 8.	Original Article	
63	Fujioka M, Suzuki K, Iwashita Y, et al.	循環器・救命救急地域連携学講座	Influenza-associated septic shock accompanied by septic cardiomyopathy that developed in summer and mimicked fulminant myocarditis.	Acute Medicine & Surgery. 2019 Feb 10. 6(2):192-196. eCollection 2019 Apr.	Original Article	
64	Miyoshi T, Katsuragi S, Neki R, et al.	臨床研究開発センター(産科婦人科学)	Cardiovascular profile and biophysical profile scores predict short-term prognosis in infants with congenital heart defect.	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2019 Jul. 45(7):1268-1276. 2019 Apr 11.	Original Article	
65	Yamashita Y, Suzuki K, Mastumoto T, et al.	血液・腫瘍内科学	Elevated plasma levels of soluble C-type lectin-like receptor 2 (CLEC2) in patients with thrombotic microangiopathy.	Thrombosis Research. 2019 Jun. 178:54-58. 2019 Mar 28.	Original Article	
66	Eguchi A, Kostallari E, Feldstein AE, et al.	消化器内科学	Extracellular vesicles, the liquid biopsy of the future.	Journal of Hepatology. 2019 Jun. 70(6):1292-1294. 2019 Apr 12. No abstract available.	Others	
67	Yamaguchi M, Suzuki R, Miyazaki K, et al.	血液・腫瘍内科学	Improved prognosis of extranodal NK/T cell lymphoma, nasal type of nasal origin but not extranasal origin.	Annals of Hematology. 2019 Jul. 98(7):1647-1655. 2019 Apr 19.	Original Article	
68	Iwamoto T, Monma F, Ohishi K, et al.	薬剤部	Evaluation of medication adherence and pharmacokinetics of dasatinib for earlier molecular response in Japanese patients with newly diagnosed chronic myeloid leukemia: a pilot study.	Therapeutic Drug Monitoring. 2019 Oct. 41(5):575-581.	Original Article	
69	Ichihara S, Li P, Mise N, et al.	ヒト機能ゲノミクス部門	Ablation of aryl hydrocarbon receptor promotes angiotensin II-induced cardiac fibrosis through enhanced c-Jun/HIF-1 α signaling.	Archives of Toxicology. 2019 Jun. 93(6):1543-1553. 2019 Apr 23.	Original Article	
70	Ukai T, Ichikawa S, Sekimoto M, et al.	家庭医療学	Effectiveness of monthly and bimonthly follow-up of patients with well-controlled type 2 diabetes: a propensity score matched cohort study.	BMC Endocrine Disorders. 2019 May 2. 19(1):43.	Original Article	小計24件

71	Ogura S, Tameda M, Sugimoto K, et al.	消化器内科学	A substitution in the pre-S1 promoter region is associated with the viral regulation of hepatitis B virus.	Virology Journal. 2019 May 2. 16(1):59.	Original Article	
72	Wakabayashi H, Kino H, Kondo M, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Efficacy of subcutaneous tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis and systemic sclerosis overlap syndrome: a report of two cases and review of the literature.	BMC Rheumatology. 2019 Apr 24. 3:15. eCollection 2019.	Review	
73	Ii Y, Maeda M, Ishikawa H, et al.	神経病態内科学	Cortical microinfarcts in patients with multiple lobar microbleeds on 3 T MRI.	Journal of Neurology. 2019 Aug. 266(8):1887-1896. 2019 May 2.	Original Article	
74	Magawa S, Tanaka H, Furuhashi F, et al.	産科婦人科学	RETRACTED ARTICLE: Intrapartum cardiotocogram monitoring between obstetricians and computer analysis.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Sep 12. 1-181. (オンライン)	Original Article	
75	Ishinaga H, He F, Hou B, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	A longitudinal study on circulating miR-21 as a therapeutic effect marker in head and neck squamous cell carcinoma.	Carcinogenesis. 2019 Apr 11. bgz075. (オンライン)	Original Article	
76	Magawa S, Tanaka H, Furuhashi F, et al.	産科婦人科学	Intrapartum cardiotocogram monitoring between obstetricians and computer analysis.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 May 23. 1-7. (オンライン)	Original Article	
77	Hayasaki A, Murata Y, Usui M, et al.	肝胆膵・移植外科学	Clinical Significance of Plasma Apolipoprotein-AII Isoforms as a Marker of Pancreatic Exocrine Disorder for Patients with Pancreatic Adenocarcinoma Undergoing Chemoradiotherapy, Paying Attention to Pancreatic Morphological Changes.	BioMed Research International. 2019 Apr 4. 2019:5738614. eCollection 2019.	Original Article	
78	Horiuchi C, Kamiya CA, Ohuchi H, et al.	産科婦人科学	Impact of Pregnancy on Aortic Root in Women with Repaired Conotruncal Anomalies.	Pediatric Cardiology. 2019 Aug. 40(6):1134-1143. 2019 May 13.	Original Article	
79	Okugawa Y, Toiyama Y, Hur K, et al.	消化管・小児外科学	Circulating miR-203 derived from metastatic tissues promotes myopenia in colorectal cancer patients.	Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle. 2019 Jun. 10(3):536-548. 2019 Mar 25.	Original Article	
80	Sano T, Akeda K, Yamada J, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Expression of the RANK/RANKL/OPG system in the human intervertebral disc: implication for the pathogenesis of intervertebral disc degeneration.	BMC Musculoskeletal Disorders. 2019 May 17. 20(1):225.	Original Article	
81	Mizuno S, Soma S, Inada H, et al.	外来化学療法部	SOCS1 Antagonist-Expressing Recombinant Bacillus Calmette-Guérin Enhances Antituberculosis Protection in a Mouse Model.	Journal of Immunology. 2019 Jul 1. 203(1):188-197. 2019 May 17.	Original Article	
82	Nakano T, Hasegawa T, Suzuki D, et al.	精神神経科学	Amantadine Combines Astroglial System Xc(-) Activation with Glutamate/NMDA Receptor Inhibition.	Biomolecules. 2019 May 17. 9(5):191.	Original Article	
83	Kageyama Y, Miwa H, Tawara I, et al.	血液・腫瘍内科学	A population of CD20(+)CD27(+)CD43(+)CD38(lo/int) B1 cells in PNH are missing GPI-anchored proteins and harbor PIGA mutations.	Blood. 2019 Jul 4. 134(1):89-92. 2019 May 21. No abstract available.	Letter	
84	Kita K, Nakamura T, Yamanaka T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Successful treatment with cryoablation in a patient with bone metastasis in the mid-shaft femur: a case report.	OncoTargets and Therapy. 2019 Apr 17. 12:2949-2953. eCollection 2019.	Case report	
85	Ito A, Tamura A, Niwa A, et al.	神経病態内科学	Recurrent transient global amnesia associated with internal jugular vein thrombosis.	Journal of the Neurological Sciences. 2019 Jul 15. 402:108-110. 2019 May 8. No abstract available.	Letter	
86	Magawa S, Nii M, Tanaka H, et al.	産科婦人科学	Phase-1 clinical study of tadalafil administered for selective fetal growth restriction in twin pregnancy.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Jun 10. 1-8. (オンライン)	Original Article	
87	Ishikawa H, Shindo A, Ii Y, et al.	神経病態内科学	Vertebral artery dissection associated with familial Mediterranean fever and Behçet's disease.	Annals of Clinical and Translational Neurology. 2019 Apr 4. 6(5):974-978. eCollection 2019 May.	Original Article	
88	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化管・小児外科学	Lymphocyte-to-C-reactive protein ratio and score are clinically feasible nutrition-inflammation markers of outcome in patients with gastric cancer.	Clinical Nutrition. 2020 Apr. 39(4):1209-1217. 2019 May 21.	Original Article	
89	Eguchi A, Hasegawa H, Iwasa M, et al.	消化器内科学	Serum Liver-Type Fatty Acid-Binding Protein Is a Possible Prognostic Factor in Human Chronic Liver Diseases From Chronic Hepatitis to Liver Cirrhosis and Hepatocellular Carcinoma.	Hepatology Communications. 2019 Apr 2. 3(6):825-837. eCollection 2019 Jun.	Original Article	
90	Katsurahara M, Miura H, Horiki N.	光学医療診療部	A case of pedunculated duodenal neuroendocrine tumor.	Digestive Endoscopy. 2019 Sep. 31(5):593. 2019 Jul 25. No abstract available.	Letter	
91	Kuroda N, Masuya M, Tawara I, et al.	消化器内科学	Infiltrating CCR2(+) monocytes and their progenies, fibrocytes, contribute to colon fibrosis by inhibiting collagen degradation through the production of TIMP-1.	Scientific Reports. 2019 Jun 12. 9(1):8568.	Original Article	
92	Tanaka F, Matsukawa M, Kogue R, et al.	放射線医学	A case of a rosette-forming glioneuronal tumor arising from the pons with disappearance of contrast enhancement.	Radiology Case Reports. 2019 May 22. 14(8):899-902. eCollection 2019 Aug.	Case report	
93	Ito A, Shindo A, Ii Y, et al.	神経病態内科学	Microbleeds after Carotid Artery Stenting: Small Embolism May Induce Cerebral Microbleeds.	Cerebrovascular Diseases Extra. 2019. 9(2):57-65. 2019 Jun 14.	Original Article	
94	Maki S, Tanaka H, Tsuji M, et al.	産科婦人科学	Safety Evaluation of Tadalafil Treatment for Fetuses with Early-Onset Growth Restriction (TADAFER): Results from the Phase II Trial.	Journal of Clinical Medicine. 2019 Jun 15. 8(6):856.	Original Article	小計24件

95	Nakamura T, Tsukushi S, Asanuma K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	The clinical outcome of eribulin treatment in Japanese patients with advanced soft tissue sarcoma: a Tokai Musculoskeletal Oncology Consortium study.	Clinical and Experimental Metastasis. 2019 Aug. 36(4):343-350. 2019 Jun 17.	Original Article	
96	Suzuki H.	脳神経外科学	Inflammation: a Good Research Target to Improve Outcomes of Poor-Grade Subarachnoid Hemorrhage.	Translational Stroke Research. 2019 Dec. 10(6):597-600. 2019 Jun 18.	Others	
97	Yin C, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Rac GTPase-Activating Protein 1 (RACGAP1) as an Oncogenic Enhancer in Esophageal Carcinoma.	Oncology. 2019. 97(3):155-163. 2019 Jun 19.	Original Article	
98	Ohi M, Toiyama Y, Kitajima T, et al.	消化管・小児外科学	Laparoscopic esophagogastrostomy using a knifeless linear stapler after proximal gastrectomy.	Surgery Today. 2019 Dec. 49(12):1080-1086. 2019 Jun 20.	Original Article	
99	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器内科学	Endoscopic submucosal dissection-induced incarcerated diaphragmatic hernia.	Gastrointestinal Endoscopy. 2019 Nov. 90(5):852-854. 2019 Jun 20.	Original Article	
100	Yuda M, Kaneko I, Iwanaga S, et al.	医動物・感染医学	Female-specific gene regulation in malaria parasites by an AP2-family transcription factor.	Molecular Microbiology. 2020 Jan. 113(1):40-51. 2019 Aug 2.	Original Article	
101	Sakurai N, Komada Y, Hanaki R, et al.	小児科学	Role of microRNAs in glucocorticoid-resistant B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	Oncology Reports. 2019 Aug. 42(2):708-716. 2019 Jun 10.	Original Article	
102	Shigefuku R, Iwasa M, Katayama K, et al.	消化器内科学	Hypozincemia is associated with human hepatocarcinogenesis in hepatitis C virus-related liver cirrhosis.	Hepatology Research. 2019 Oct. 49(10):1127-1135. 2019 Jul 16.	Original Article	
103	Kakimoto T, Matsumine A, Asanuma K, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	The clinical outcomes of total femur prosthesis in patients with musculoskeletal tumors.	SICOT J. 2019. 5:23. 2019 Jun 28.	Original Article	
104	Kurohara K, Tomomatsu N, Nakakuki K, et al.	口腔・顎顔面外科学	Skeletal stability after maxillary step osteotomy compared with original Le Fort I osteotomy during one-year of follow-up.	Scientific Reports. 2019 Jul 5. 9(1):9742.	Original Article	
105	Nagaharu K, Masuya M, Kawakami K, et al.	血液・腫瘍内科学	Successful Management of Immune Thrombocytopenia Presenting with Lethal Alveolar Hemorrhage.	Case Reports in Hematology. 2019 Jun 10. 2019:5170282. eCollection 2019.	Case report	
106	Sekito S, Kato M, Nishikawa K, et al.	腎泌尿器外科学	Successfully Treated Lung and Renal Metastases from Primary Chondrosarcoma of the Scapula with Radiofrequency Ablation and Surgical Resection.	Case Reports in Oncological Medicine. 2019 Jun 9. 2019:6475356. eCollection 2019.	Case report	
107	Dohi K.	循環器・腎臓内科学	Echocardiographic assessment of cardiac structure and function in chronic renal disease.	Journal of Echocardiography. 2019 Sep. 17(3):115-122. 2019 Jul 8. Review.	Review	
108	Hamdy A, Ichikawa Y, Toyomasu Y, et al.	放射線医学	Perfusion CT to Assess Response to Neoadjuvant Chemotherapy and Radiation Therapy in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: Initial Experience.	Radiology. 2019 Sep. 292(3):628-635. 2019 Jul 9.	Original Article	
109	Iwasa M, Ishihara T, Kato M, et al.	消化器内科学	Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy for Refractory Ascites in Cirrhosis in Post-marketing Surveillance and the Role of Tolvaptan.	Internal Medicine. 2019 Nov 1. 58(21):3069-3075. 2019 Jul 10.	Original Article	
110	Suzuki K, Wada H, Matsumoto T, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Usefulness of the APTT waveform for the diagnosis of DIC and prediction of the outcome or bleeding risk.	Thrombosis Journal. 2019 Jun 28. 17:12. eCollection 2019.	Original Article	
111	Kozawa S, Nata M.	法医法科学	Sudden death of a preschool child diagnosed by postmortem examination.	Journal of Forensic and Legal Medicine. 2019 Aug. 66:144-146. 2019 Jul 10.	Original Article	
112	Kageyama Y, Matsumoto T, Tawara I, et al.	血液・腫瘍内科学	Life-Threatening Tongue and Retropharyngeal Hemorrhage in a Patient with Hemophilia A with Inhibitors.	American Journal of Case Reports. 2019 Jul 15. 20:1022-1026.	Case report	
113	Kondo M, Mizutani M, Yamanaka K.	皮膚科学	Mosquito Bite-Induced Localized NK/T-Cell Lymphoma Relapsed in a Patient with Complete Remission of Extranodal NK/T-Cell Lymphoma, Nasal Type.	Case Reports in Dermatology. 2019 Jun 26. 11(2):194-197. eCollection 2019 May-Aug.	Case report	
114	Darkwah S, Nago N, Appiah MG, et al.	分子病態学	Differential Roles of Dendritic Cells in Expanding CD4 T Cells in Sepsis.	Biomedicines. 2019 Jul 18. 7(3):52.	Original Article	
115	Suzuki Y, Shiba M, Wada H, et al.	脳神経外科学	Case of Hemorrhagic Moyamoya Disease Associated with Von Willebrand Disease.	World Neurosurgery. 2019 Oct. 130:335-338. 2019 Jul 18.	Original Article	
116	Sakuma H.	放射線医学	Coronary CT Angiography Fractional Flow Reserve Analysis: A Practical Tool or a Luxury for Research Centers?	Radiology. 2019 Sep. 292(3):606-607. 2019 Jul 23. No abstract available.	Others	
117	Okamoto R, Ali Y, Hashizume R, et al.	循環器・腎臓内科学	BNP as a Major Player in the Heart-Kidney Connection.	International Journal of Molecular Sciences. 2019 Jul 22. pii: E3581. Review.	Review	
118	Fujimoto N, Sato T, Moriwaki K, Sugiura E, Nakamori S, Imanaka-Yoshida K, Ito M, Dohi K.	循環器・腎臓内科学	Early Localized Ventricular Septal Aneurysm Formation in Acute Eosinophilic Myocarditis.	Circulation Journal. 2019 Nov 25. 83(12):2567. 2019 Jul 23.	Others	小計24件

119	Sakai M, Jujo S, Kobayashi J, et al.	臨床麻酔部	Use of low-dose β1-blocker for sinus tachycardia in patients with catecholamine support following cardiovascular surgery: a retrospective study.	Journal of Cardiothoracic Surgery. 2019 Jul 25. 14(1):145.	Original Article	
120	Kagawa Y, Fujii E, Fujita S, et al.	循環器・腎臓内科学	Association between left atrial reverse remodeling and maintenance of sinus rhythm after catheter ablation of persistent atrial fibrillation.	Heart Vessels. 2020 Feb. 35(2):239-245. 2019 Jul 25.	Original Article	
121	Okada M, Ueda Y, Fukuyama K.	精神神経科学	Lurasidone inhibits NMDA receptor antagonist-induced functional abnormality of thalamocortical glutamatergic transmission via 5-HT(7) receptor blockade.	British Journal of Pharmacology. 2019 Oct. 2019 Sep 15.	Original Article	
122	Asanuma K, Nakamura T, Asanuma Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Serum thrombomodulin as a metastatic and prognostic marker in soft tissue sarcomas.	Cancer Biomarkers. 2019 Jul 19. 26(2):163-170.	Original Article	
123	Okada M, Fukuyama K, Ueda Y, et al.	精神神経科学	Carbamazepine Attenuates Astroglial L-Glutamate Release Induced by Pro-Inflammatory Cytokines via Chronically Activation of Adenosine A(2A) Receptor.	International Journal of Molecular Sciences. 2019 Jul 30. 20(15):3727.	Original Article	
124	Kogue R, Maeda M, Umino M, et al.	放射線医学	Evaluation of a high-signal lesion posterior to the intracranial vertebral artery using 3D balanced fast-field echo imaging.	Neuroradiology. 2019 Oct. 61(10):1199-1202. 2019 Aug 6.	Original Article	
125	Mizutani K, Matsushima Y, Habe K, et al.	皮膚科学	Interleukin-17-dressed neutrophil: Neutrophil does not produce but delivers interleukin-17 to lesional epidermis causing keratinocyte S100A expression.	Indian Journal of Dermatology, Venereology and Leprology. 2019 Sep-Oct. 85(5):531-534. No abstract available.	Letter	
126	Yasukochi Y, Sakuma J, Takeuchi I, et al.	ヒト機能ゲノミクス部門	Evolutionary history of disease-susceptibility loci identified in longitudinal exome-wide association studies.	Molecular Genetics and Genomic Medicine. 2019 Sep. 7(9):e925. 2019 Aug 11.	Original Article	
127	Nakano F, Liu L, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Possible Involvement of Caspase-Independent Pathway in Neuronal Death After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:43-46.	Others	
128	Nakano F, Liu L, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Link Between Receptors That Engage in Developing Vasospasm After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:55-58.	Others	
129	Nishikawa H, Nakano F, Liu L, et al.	脳神経外科学	The Role of Galectin-3 in Subarachnoid Hemorrhage: A Preliminary Study.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:65-68.	Others	
130	Okada T, Liu L, Nishikawa H, et al.	脳神経外科学	TAK-242, Toll-Like Receptor 4 Antagonist, Attenuates Brain Edema in Subarachnoid Hemorrhage Mice.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:77-81.	Others	
131	Suzuki H, Fujimoto M, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Toll-Like Receptor 4 and Tenascin-C Signaling in Cerebral Vasospasm and Brain Injuries After Subarachnoid Hemorrhage.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:91-96.	Others	
132	Shiba M, Ishida F, Miya F, et al.	脳神経外科学	Role of Computational Fluid Dynamics for Predicting Delayed Cerebral Ischemia After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: Study Protocol for a Multicenter Prospective Study.	Acta Neurochirurgica, Supplementum. 2020. 127:161-164.	Others	
133	Omura Y, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Crohn's-Like Lymphoid Reaction is Associated with Oncological Prognosis and Nutritional Status in Patients with Pathological Stage II/III Gastric Cancer.	Annals of Surgical Oncology. 2020 Jan. 27(1):259-267. 2019 Aug 14.	Original Article	
134	Sugimoto M, Kondo M, Kamimoto Y, et al.	眼科学	Changes in VEGF-related factors are associated with presence of inflammatory factors in carbohydrate metabolism disorders during pregnancy.	PLoS One. 2019 Aug 15. 14(8):e0220650. eCollection 2019.	Original Article	
135	Miyoshi T, Maeno Y, Hamasaki T, et al.	産科婦人科学	Antenatal Therapy for Fetal Supraventricular Tachyarrhythmias: Multicenter Trial.	Journal of the American College of Cardiology. 2019 Aug 20. 74(7):874-885.	Original Article	
136	Motomura E, Inui K, Kawano Y, et al.	精神神経科学	Effects of Sound-Pressure Change on the 40 Hz Auditory Steady-State Response and Change-Related Cerebral Response.	Brain Sciences. 2019 Aug 16. 9(8):203.	Original Article	
137	Takahashi Y, Kobayashi T, D'Alessandro-Gabazza CN, et al.	呼吸器内科学	Protective Role of Matrix Metalloproteinase-2 in Allergic Bronchial Asthma.	Frontiers in immunology. 2019 Aug 2. 10:1795. eCollection 2019.	Original Article	
138	Ikejiri K, Suzuki K, Ito A, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Invasive Salmonella Enteritidis infection complicated by bacterial meningitis and vertebral osteomyelitis shortly after influenza A infection in an immunocompetent young adult.	Journal of Infection and Chemotherapy. 2020 Feb. 26(2):269-273. 2019 Aug 21.	Original Article	
139	Sugimoto M, Ichio A, Mochida D, et al.	眼科学	Multiple Effects of Intravitreal Aflibercept on Microvascular Regression in Eyes with Diabetic Macular Edema.	Ophthalmology Retina. 2019 Dec. 3(12):1067-1075. 2019 Jun 15.	Original Article	
140	Ishii K, Matsuoka I, Sasaki T, et al.	腫瘍病理学	Loss of Fibroblast-Dependent Androgen Receptor Activation in Prostate Cancer Cells is Involved in the Mechanism of Acquired Resistance to Castration.	Journal of Clinical Medicine. 2019 Sep 3. 8(9):1379.	Original Article	
141	Mizutani H, Ogihara Y, Fujimoto N, et al.	循環器・腎臓内科学	Pulmonary Perfusion Scintigraphy - Non-Invasive Method to Confirm Platypnea-Orthodeoxia Syndrome Treatment Effectiveness.	Circulation Journal.2019 Nov 25. 83(12):2570. 2019 Sep 3.	Others	
142	Hirota Y, Moriwaki K, Kurita T, et al.	循環器・腎臓内科学	Radiation-Induced Myocardial Injury Detected on Computed Tomography Myocardial Perfusion Imaging.	Circulation Journal.2019 Nov 25. 83(12):2571 2019 Sep 5.	Others	小計24件

143	Sugiura E, Dohi K, Tanimura M, et al.	循環器・腎臓内科学	Successful Peritoneal Dialysis for the Treatment of Inotrope-Dependent End-Stage Heart Failure.	International Heart Journal. 2019 Sep 27. 60(5):1211-1218. 2019 Sep 4.	Original Article	
144	Hamada Y, Tanaka K, Yamada R, et al.	消化器内科学	Hemorrhagic Colitis Induced by Second-line Helicobacter pylori Eradication.	Internal Medicine. 2020 Jan 15. 59(2):301-302. 2019 Sep 3.	Others	
145	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化管・小児外科学	Modified neutrophil-platelet score as a promising marker for stratified surgical and oncological outcomes of patients with gastric cancer.	Surgery Today. 2020 Mar. 50(3):223-231. 2019 Sep 4.	Original Article	
146	Kato K, Miyake K, Hirano K, et al.	眼科学	Management of Postoperative Inflammation and Dry Eye After Cataract Surgery.	Cornea. 2019 Nov. 38 Suppl 1:S25-S33.	Original Article	
147	Kawakita F, Kanamaru H, Asada R, Suzuki H.	脳神経外科学	Potential roles of matricellular proteins in stroke.	Experimental Neurology. 2019 Dec. 322:113057. 2019 Sep 6.	Review	
148	Zang L, Shimada Y, Nakayama H, et al.	地域イノベーション研究科	RNA-seq Based Transcriptome Analysis of the Anti-Obesity Effect of Green Tea Extract Using Zebrafish Obesity Models.	Molecules. 2019 Sep 6. 24(18):3256.	Original Article	
149	Fukuma T, Okamoto R, Nakata T, et al.	循環器・腎臓内科学	Overlooked pericarditis complicated with cardiac tamponade due to an uncommon cause.	European Heart Journal Cardiovascular Imaging. 2020 Jan 1. 21(1):116.	Others	
150	Kato D, Ryu H, Matsumoto T, et al.	地域医療学講座	Building primary care in Japan: Literature review.	Journal of General Family Medicine. 2019 May 13. 20(5):170-179. eCollection 2019 Sep. Review.	Review	
151	Nakano F, Liu L, Kawakita F, et al.	脳神経外科学	Morphological Characteristics of Neuronal Death After Experimental Subarachnoid Hemorrhage in Mice Using Double Immunoenzymatic Technique.	Journal of Histochemistry and Cytochemistry. 2019 Dec. 67(12):919-930. 2019 Sep 17.	Original Article	
152	Kawakita F, Suzuki H.	脳神経外科学	Periostin in cerebrovascular disease.	Neural Regeneration Research. 2020 Jan. 15(1):63-64. No abstract available.	Review	
153	Ito A, Kawamoto E, Nagai Y, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Feasibility of Measuring Face-to-Face Interactions Among ICU Healthcare Professionals Using Wearable Sociometric Badges.	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine. 2020 Jan 15. 201(2):245-247.	Letter	
154	Koiwa J, Shiromizu T, Adachi Y, et al.	統合薬理学	Generation of a Triple-Transgenic Zebrafish Line for Assessment of Developmental Neurotoxicity during Neuronal Differentiation.	Pharmaceuticals (Basel). 2019 Sep 24. 12(4):145.	Original Article	
155	Okita Y, Araki T, Okugawa Y, et al.	先進医療外科学講座	The prognostic nutritional index for postoperative infectious complication in patients with ulcerative colitis undergoing proctectomy with ileal pouch-anal anastomosis following subtotal colectomy.	Journal of the Anus, Rectum and Colon. 2019 Apr 25. 3(2):91-97. eCollection 2019.	Original Article	
156	Umeda Y, Tanaka K, Yamada R.	消化器内科学	An Unusual Web Stricture in the Cervical Esophagus.	Gastroenterology. 2020 Jan. 158(1):54-55. 2019 Sep 26. No abstract available.	Others	
157	Nakamura T, Fujiwara T, Tsuda Y, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	The Clinical Outcomes of Hemicortical Extracorporeal Irradiated Autologous Bone Graft After Tumor Resection of Bone and Soft Tissue Sarcoma.	Anticancer Research. 2019 Oct. 39(10):5605-5610.	Original Article	
158	Okada M, Fukuyama K, Okubo R, et al.	精神神経科学	Lurasidone Sub-Chronically Activates Serotonergic Transmission via Desensitization of 5-HT1A and 5-HT7 Receptors in Dorsal Raphe Nucleus.	Pharmaceuticals (Basel). 2019 Oct 6. 12(4):149.	Original Article	
159	Nishimura Y, Kasahara K, Inagaki M.	統合薬理学	Intermediate filaments and IF-associated proteins: from cell architecture to cell proliferation.	Proceedings of the Japan Academy Series B: Physical and Biological Sciences. 2019. 95(8):479-493. Review.	Review	
160	Sasaki T, Sugino Y, Kato M, et al.	腎泌尿器外科学	Pre-treatment ratio of periprostatic to subcutaneous fat thickness on MRI is an independent survival predictor in hormone-naｱｯve men with advanced prostate cancer.	International Journal of Clinical Oncology. 2020 Feb. 25(2):370-376. 2019 Oct 15.	Original Article	
161	Ashikawa Y, Shiromizu T, Miura K, et al.	統合薬理学	C3orf70 Is Involved in Neural and Neurobehavioral Development.	Pharmaceuticals (Basel). 2019 Oct 16. 12(4).156.	Original Article	
162	Banda CH, Mitsui K, Ishiura R, et al.	形成外科学	A supermicrosurgery pig foot training model for practice of lymphaticovenular anastomosis.	Microsurgery. 2020 Jan. 40(1):91-92. 2019 Oct 18. No abstract available.	Letter	
163	Ishii K.	腫瘍病理学	Cytobiology of Human Prostate Cancer Cells and Its Clinical Applications.	Journal of Clinical Medicine. 2019 Oct 17. 8(10). 1716.	Others	
164	Tanaka H, Maki S, Magawa S, et al.	産科婦人科学	Maternal Blood Concentration of Tadalafil and Uterine Blood Flow in Pregnancy.	Medicina (Kaunas). 2019 Oct 21. 55(10). 708.	Original Article	
165	Fujimoto N, Moriwaki K, Takeuchi T, et al.	循環器・腎臓内科学	Effects of sitagliptin on exercise capacity and hemodynamics in patients with type 2 diabetes mellitus and coronary artery disease.	Heart Vessels. 2020 May. 35(5):605-613. 2019 Oct 22.	Original Article	
166	Miyazaki K, Asano N, Yamada T, et al.	血液・腫瘍内科学	DA-EPOCH-R combined with high-dose methotrexate in patients with newly diagnosed stage II-IV CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: a single-arm, open-label, phase 2 study.	Haematologica. 2019 Oct 24. 2019.231076. (オンライン)	Original Article	小計24件

167	Noguchi D, Kuriyama N, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科学	Antiapoptotic Effect by PAR-1 Antagonist Protects Mouse Liver Against Ischemia-Reperfusion Injury.	Journal of Surgical Research. 2020 Feb. 246:568-583. 2019 Oct 22.	Original Article	
168	Kato K, Kondo M, Takeuchi M, et al.	眼科学	Refractive error and biometrics of anterior segment of eyes of healthy young university students in Japan.	Scientific Reports. 2019 Oct 25. 9(1):15337.	Original Article	
169	Hirano K, Tokui T, Nakamura B, et al.	胸部心臓血管外科学	Impact of the Frozen Elephant Trunk Technique on Total Aortic Arch Replacement.	Annals of Vascular Surgery. 2020 May. 65:206-216. 2019 Oct 31.	Original Article	
170	Ishikawa H, Shindo A, Ii Y, et al.	神経病態内科学	MEFV gene mutations in neuro-Behテァet's disease and neuro-Sweet disease.	Annals of Clinical and Translational Neurology. 2019 Dec. 6(12):2595-2600. 2019 Nov 4.	Original Article	
171	Imanaka-Yoshida K.	修復再生病理学	Inflammation in myocardial disease: From myocarditis to dilated cardiomyopathy.	Pathology International. 2020 Jan. 70(1):1-11. 2019 Nov 5. Review.	Review	
172	Murata T, Shimizu K, Kurohara K, et al.	口腔・顎顔面外科学	Role of Phosphodiesterase2A in Proliferation and Migration of Human Osteosarcoma Cells.	Anticancer Research. 2019 Nov. 39(11):6057-6062.	Original Article	
173	Hamada Y, Tanaka K, Horiki N, et al.	消化器内科学	Colonic histoplasmosis resembling early colon cancer.	Gastrointestinal Endoscopy. 2020 Apr. 91(4):951-952. 2019 Nov 9.	Original Article	
174	Kageyama Y, Katayama N.	血液・腫瘍内科学	Ontogeny of human B1 cells.	International Journal of Hematology. 2020 May. 111(5):628-633. 2019 Nov 12.	Original Article	
175	Okugawa Y, Toiyama Y, Ohi M, et al.	消化管・小児外科学	Comment on "Prognostic Nutritional Index, Tumor-infiltrating Lymphocytes, and Prognosis in Patients With Esophageal Cancer".	Annals of Surgery. 2019 Dec. 270(6):e104-e105. No abstract available.	Letter	
176	Nakano T, Hasegawa T, Suzuki D, et al.	精神神経科学	Amantadine Improves Delayed Neuropsychiatric Sequelae of Carbon Monoxide Poisoning: A Case Report.	Brain Sciences. 2019 Oct 25. 9(11). 292.	Case report	
177	Hamada Y, Tanaka K, Hattori A, et al.	消化器内科学	Gastric metastasis resembling linitis plastica 17 years after lobular breast cancer.	Digestive and Liver Disease. 2020 Feb. 52(2):232. 2019 Nov 14. No abstract available.	Original Article	
178	Furuhashi F, Tanaka H, Maki S, et al.	産科婦人科学	Tadalafil treatment for preeclampsia (medication in preeclampsia; MIE): a multicenter phase II clinical trial.	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine. 2019 Nov 17. 1-7（オンライン）	Original Article	
179	Matsuura K, Maeda M, Satoh M, et al.	神経病態内科学	Low Pulvinar Intensity in Susceptibility-Weighted Imaging May Suggest Cognitive Worsening After Deep Brain Stimulation Therapy in Patients With Parkinson's Disease.	Front Neurol. 2019 Oct 31. 10:1158. eCollection 2019.	Original Article	
180	Park EJ, Appiah MG, Myint PK, et al.	分子病態学	Exosomes in Sepsis and Inflammatory Tissue Injury.	Current Pharmaceutical Design. 2019. 25(42):4486-4495.	Review	
181	Okada M, Ueda Y, Nakano T, et al.	精神神経科学	Pharmacological Discrimination of Effects of MK801 on Thalamocortical, Mesothalamic, and Mesocortical Transmissions.	Biomolecules. 2019 Nov 18. 9(11). 746.	Original Article	
182	Ichikawa T, Okugawa Y, Toiyama Y, et al.	消化管・小児外科学	Clinical significance and biological role of L1 cell adhesion molecule in gastric cancer.	British Journal of Cancer. 2019 Dec. 121(12):1058-1068. 2019 Nov 22.	Original Article	
183	Eguchi A, Fukuda S, Kuratsune H, et al.	消化器内科学	Identification of actin network proteins, talin-1 and filamin-A, in circulating extracellular vesicles as blood biomarkers for human myalgic encephalomyelitis/chronic fatigue syndrome.	Brain, Behavior, and Immunity. 2020 Feb. 84:106-114. 2019 Nov 20.	Original Article	
184	Hamada Y, Tanaka K, Hattori A, et al.	消化器内科学	An Unusual Case of Rectal Submucosal Tumor.	Internal Medicine. 2020 Mar 15. 59(6):865-866. 2019 Nov 22.	Others	
185	Yonekura H, Ide K, Kanazawa Y, et al.	臨床麻酔部	Use of preoperative haemostasis and ABO blood typing tests in children: a retrospective observational study using a nationwide claims database in Japan.	BMJ Open. 2019 Nov 27. 9(11):e032306.	Original Article	
186	Sugimoto M, Wakamatsu Y, Miyata R, et al.	眼科学	Relationship between Size of the Foveal Avascular Zone and Carbohydrate Metabolic Disorders during Pregnancy.	BioMed Research International. 2019 Nov 4. 2019:3261279. eCollection 2019.	Original Article	
187	Kato R, Okada M.	精神神経科学	Can Financial Support Reduce Suicide Mortality Rates?	International Journal of Environmental Research and Public Health. 2019 Nov 29. 16(23). 4797.	Original Article	
188	Nakamura T, Asanuma K, Hagi T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Is Serum Lactate Dehydrogenase Useful for Predicting Oncological Outcome in Patients With Soft Tissue Sarcoma?	Anticancer Research. 2019 Dec. 39(12):6871-6875.	Original Article	
189	Kato S, Wakabayashi H, Nakagawa T, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	Teriparatide improves pain-related behavior and prevents bone loss in ovariectomized mice.	Journal of Orthopaedic Surgery (Hong Kong). 2020 Jan-Apr. 28(1):2309499019893194.	Original Article	
190	Ito A, Iwashita Y, Esumi R, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Acquired factor XIII deficiency in two patients with bleeding events during veno-venous extracorporeal membrane oxygenation treatment.	Journal of Artificial Organs. 2019 Dec 13.（オンライン）	Original Article	小計24件

191	Okada M, Okubo R, Fukuyama K.	精神神経科学	Vortioxetine Subchronically Activates Serotonergic Transmission via Desensitization of Serotonin 5-HT(1A) Receptor with 5-HT(3) Receptor Inhibition in Rats.	International Journal of Molecular Sciences. 2019 Dec 10. 20(24). 6235.	Original Article	
192	Yamada Y, Chensom S, Yonemoto H, et al.	ヒト機能ゲノミクス部門	Water Extract of Yamato Tachibana (Citrus tachibana) Induces Food Intake in Adult and Larval Zebrafish.	Journal of medicinal food. 2020 Jan. 23(1):65-71 2019 Dec 17.	Original Article	
193	Takahashi Y, Wakita H, Mizutani K, et al.	神経病態内科学	Selective accumulation of adiponectin in the cerebral cortex under chronic cerebral hypoperfusion in the rat.	Neuroreport. 2020 Jan 27. 31(2):148-155.	Original Article	
194	Kajiwara S, Ishii K, Sasaki T, et al.	腎泌尿器外科学	Castration-induced stromal remodeling disrupts the reconstituted prostate epithelial structure.	Laboratory Investigation. 2020 May. 100(5):670-681. 2019 Dec 19.	Original Article	
195	Ide S, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科学	Clinical significance of an increased red blood cell distribution width in patients with rectal cancer undergoing chemoradiotherapy followed by surgery.	Surgery Today. 2020 Jun. 50(6):551-559. 2019 Dec 20.	Original Article	
196	Kanii Y, Ichikawa Y, Nakayama R, et al.	放射線医学	Usefulness of dictionary learning-based processing for improving image quality of sub-millisievert low-dose chest CT: initial experience.	Japanese Journal of Radiology. 2020 Mar. 38(3):215-221. 2019 Dec 20.	Original Article	
197	Yukimoto H, Tanaka K, Umeda Y, et al.	光学医療診療部	Esophageal muscle layer tear during endoscopic submucosal dissection treated by polyglycolic acid sheets and fibrin glue.	Endoscopy. 2020 Jun. 52(6):E211-E212. 2019 Dec 20.	Original Article	
198	Ishikawa H, Ii Y, Shindo A, et al.	神経病態内科学	Cortical Microinfarcts Detected by 3-Tesla Magnetic Resonance Imaging: Differentiation Between Cerebral Amyloid Angiopathy and Embolism.	Stroke. 2020 Mar. 51(3):1010-1013. 2019 Dec 23.	Original Article	
199	Umeda Y, Hamada Y, Katsurahara M, et al.	消化器内科学	Unusual cause of hematochezia in an elderly man.	Digestive and Liver Disease. 2020 Feb. 52(2):234. 2019 Dec 23. No abstract available.	Original Article	
200	Matsui Y, Ichio A, Sugawara A, et al.	眼科学	Comparisons of Effective Fields of Two Ultra-Widefield Ophthalmoscopes, Optos 200Tx and Clarus 500.	BioMed Research International. 2019 Dec 5. 2019:7436293. eCollection 2019.	Original Article	
201	Ikemura K, Hiramatsu S, Shinogi Y, et al.	薬剤部	Concomitant febuxostat enhances methotrexate-induced hepatotoxicity by inhibiting breast cancer resistance protein.	Scientific Reports. 2019 Dec 30. 9(1):20359.	Original Article	
202	Fukuoka S, Kurita T, Takasaki A, et al.	循環器・腎臓内科学	Clinical usefulness of instantaneous wave-free ratio for the evaluation of coronary artery lesion with prior myocardial infarction: A multi-center study.	IJC Heart and Vasculature. 2019 Dec 19. 26:100431. eCollection 2020 Feb.	Original Article	
203	Fukuyama K, Fukuzawa M, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	Pathogenesis and pathophysiology of autosomal dominant sleep-related hypermotor epilepsy with S284L-mutant α4 subunit of nicotinic ACh receptor.	British Journal of Pharmacology. 2020 May. 177(9):2143-2162. 2020 Feb 15.	Original Article	
204	Toiyama Y, Okugawa Y, Shimura T, et al.	消化管・小児外科学	Neutrophil priming as a risk factor for surgical site infection in patients with colon cancer treated by laparoscopic surgery.	BMC Surgery. 2020 Jan 6. 20(1):5. BMC Surg. 2020 Jan 6;20(1):5. doi: 10.1186/s12893-019-0674-6.	Original Article	
205	Nakamura A, Tawara I, Ino K, et al.	血液・腫瘍内科学	Achievement of long-term remission of disseminated histoplasmosis in an AIDS patient.	Medical Mycology Case Reports. 2019 Dec 19. 27:25-28. eCollection 2020 Mar.	Case report	
206	Mizutani AU, Shindo A, Arikawa S, et al.	神経病態内科学	Reversible splenial lesion in a patient with new-onset refractory status epilepticus (NORSE).	eNeurologicalSci. 2019 Dec 24. 18:100220. eCollection 2020 Mar.	Letter	
207	Matsushima Y, Hayashi A, Mizutani K, et al.	皮膚科学	Psoriasiform Dermatitis Developing during Treatment of Juvenile Idiopathic Arthritis with Tocilizumab.	Case Reports in Dermatology. 2019 Nov 27. 11(3):317-321. eCollection 2019 Sep-Dec.	Case report	
208	Iwashita Y, Ito A, Sasaki K, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Cardiopulmonary resuscitation of a cardiac arrest patient with left ventricular assist device in an out-of-hospital setting: A case report.	Medicine (Baltimore). 2020 Jan. 99(2):e18658.	Case report	
209	Takafuji M, Kitagawa K, Ishida M, et al.	放射線医学	Myocardial Coverage and Radiation Dose in Dynamic Myocardial Perfusion Imaging Using Third-Generation Dual-Source CT.	Korean Journal of Radiology. 2020 Jan. 21(1):58-67.	Original Article	
210	Miyoshi T, Hisamitsu T, Ishibashi-Ueda H, et al.	産科婦人科学	Maternal administration of tadalafil improves fetal ventricular systolic function in a Hey2 knockout mouse model of fetal heart failure.	International Journal of Cardiology. 2020 Mar 1. 302:110-116. 2019 Dec 18.	Original Article	
211	Maeda K, Tabata M, Sakamoto T, et al.	肝胆膵・移植外科学	Cholecystohepatic duct detected during laparoscopic cholecystectomy: a case report.	Surgical Case Reports . 2020 Jan 13. 6(1):19.	Case report	
212	Ishiyama M, Kurita T, Ishiura J, et al.	循環器・腎臓内科学	Successful percutaneous treatment of recurrent post-infarction ventricular septal rupture using an Amplatzer duct occluder.	Journal of Cardiology Cases. 2019 Sep 25. 21(1):12-15. eCollection 2020 Jan.	Original Article	
213	Tanaka H, Tanaka K, Osato K, et al.	産科婦人科学	Evaluation of Maternal and Neonatal Outcomes of Assisted Reproduction Technology: A Retrospective Cohort Study.	Medicina (Kaunas). 2020 Jan 15. pii: E32. Medicina (Kaunas). 2020 Jan 15;56(1). pii: E32. doi: 10.3390/medicina56010032.	Original Article	
214	Takeuchi K, Xu Y, Kitano M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Copy number variation in DRC1 is the major cause of primary ciliary dyskinesia in the Japanese population.	Molecular Genetics and Genomic Medicine. 2020 Mar. 8(3):e1137. 2020 Jan 20.	Original Article	小計24件

215	Toba S, Mitani Y, Yodoya N, et al.	胸部心臓血管外科学	Prediction of Pulmonary to Systemic Flow Ratio in Patients With Congenital Heart Disease Using Deep Learning-Based Analysis of Chest Radiographs.	JAMA Cardiology. 2020 Jan 22. 5(4):449-57. (オンライン)	Original Article	
216	Yonekura H, Nakamori Y, Takeda C, et al.	臨床麻酔部	Comment on "The Effect of Minimally Invasive Esophagectomy Versus Open Esophagectomy for Esophageal Cancer".	Annals of Surgery. 2020 Jan 14. (オンライン)	Letter	
217	Ishihara M, Tono Y, Miyahara Y, et al.	がんセンター	First-in-human phase I clinical trial of the NY-ESO-1 protein cancer vaccine with NOD2 and TLR9 stimulants in patients with NY-ESO-1-expressing refractory solid tumors.	Cancer Immunology, Immunotherapy. 2020 Apr. 69(4):663-675. 2020 Jan 24.	Original Article	
218	Sawaki A, Miyazaki K, Yamaguchi M, et al.	血液・腫瘍内科学	Genetic polymorphisms and vincristine-induced peripheral neuropathy in patients treated with rituximab, cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisone therapy.	International Journal of Hematology. 2020 Jan 28. 111(5):686-691. 2020 Jan 28.	Original Article	
219	Ito A, Takao M, Shimamoto A, et al.	胸部心臓血管外科学	Introduction of thoracoscopic surgery for congenital pulmonary airway malformation in infants: review of 13 consecutive surgical cases.	Journal of Thoracic Disease. 2019 Dec. 11(12):5079-5086.	Review	
220	Nishimura A, Kato K, Nakazora S, et al.	スポーツ整形外科学講座	Tendoscopic peroneal retinaculum repair for recurrent peroneal tendon dislocation enables earlier return to sports than the open procedure.	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy. 2020 Feb 6. (オンライン)	Original Article	
221	Inoue M, Harada T, Uchida K, et al.	消化管・小児外科学	Endovascular stenting for occluded superior vena cava in an infant with short bowel syndrome.	Pediatrics International. 2020 Feb. 62(2):244-246. 2020 Feb 13.	Original Article	
222	Fukuyama K, Okubo R, Murata M, et al.	精神神経科学	Activation of Astroglial Connexin is Involved in Concentration-Dependent Double-Edged Sword Clinical Action of Clozapine.	Cells. 2020 Feb 11;9(2). 9(2):414.	Original Article	
223	Kondo M, Suzuki K, Nakayama Y, et al.	皮膚科学	Case of toxic epidermal necrolysis in immunocompromised patient possibly due to Streptococcus pneumoniae serotype uncovered by vaccine.	Journal of Dermatology. 2020 Apr. 47(4):e106-e107. 2020 Feb 13.	Letter	
224	Yonekura H, Kawasaki Y, Nakamori Y, et al.	臨床麻酔部	The Use of Sodium Bicarbonate for Metabolic Acidosis in Patients With Acute Kidney Injury.	Crit Care Med. 2020 Mar. 48(3):e251-e252. No abstract available.	Letter	
225	Kurita Y, Ichikawa Y, Nakanishi T, et al.	放射線医学	The value of Bayesian penalized likelihood reconstruction for improving lesion conspicuity of malignant lung tumors on (18)F-FDG PET/CT: comparison with ordered subset expectation maximization reconstruction incorporating time-of-flight model and point spread function correction.	Annals of Nuclear Medicine. 2020 Apr. 34(4):272-279. 2020 Feb 14.	Original Article	
226	Tachibana K, Matsuura K, Shindo A, et al.	神経病態内科学	Symptomatic Characteristics of Parkinson's Disease Induced by Neuroleptic Drugs, Based on a Functional Neuroimaging Diagnosis.	Internal Medicine. 2020. 59(4):485-490. 2020 Feb 15.	Original Article	
227	Takasaki A, Sugiura E, Dohi K, et al.	循環器・腎臓内科学	Marked changes in bioprosthetic valve thrombosis by anticoagulation therapy.	European Heart Journal - Case Reports. 2019 Nov 20. 3(4):1-3. eCollection 2019 Dec. No abstract available.	Others	
228	Nagano Y, Inoue M, Uchida K, et al.	消化管・小児外科学	(123) I-metaiodobenzylguanidine radio-guided navigation surgery for multiple recurrent paragangliomas.	Pediatrics International. 2020 Feb. 62(2):231-232. Pediatr Int. 2020 Feb;62(2):231-232. doi: 10.1111/ped.14093. No abstract available.	Original Article	
229	Asayama K, Kobayashi T, D'Alessandro-Gabazza CN, et al.	呼吸器内科学	Protein S protects against allergic bronchial asthma by modulating Th1/Th2 balance.	Allergy: European Journal of Allergy and Clinical Immunology. 2020 Mar 7. (オンライン)	Original Article	
230	Kobayashi T, Hataji O, Fujimoto H, et al.	呼吸器内科学	Too Premature to Deny the Potential of Thrombomodulin-alfa in Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine. 2020 Jun 1. 201(11):1449-1450.	Original Article	
231	Banda CH, Georgios P, Narushima M, et al.	形成外科学	Challenges in global reconstructive microsurgery: The sub-Saharan african surgeons' perspective.	JPRAS Open. 2019 Feb 4. 20:19-26. eCollection 2019 Jun.	Original Article	
232	Katsurahara M, Umeda Y, Sakuno T, et al.	光学医療診療部	A Case of Primary Colorectal Follicular Lymphoma Observed by Magnifying Endoscopy, with a Five-year Follow-up.	Internal Medicine. 2020 Jun 1. 59(11):1395-1399. 2020 Mar 12.	Original Article	
233	Kato D, Wakabayashi H, Takamura A, et al.	地域医療学講座	Identifying the learning objectives of clinical clerkship in community health in Japan: Focus group.	Journal of General and Family Medicine. 2019 Dec 13. 21(2):3-8. eCollection 2020 Mar.	Original Article	
234	Hoshino T, Yonekura H, Nakamori Y, et al.	臨床麻酔部	Early versus late tracheostomy in patients with traumatic brain injury.	Intensive Care Medicine. 2020 Jun. 46(6):1286-1287. 2020 Mar 11.	Letter	
235	Inoue M, Uchida K, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科学	Risk factors and intraoral breastmilk application for MRSA colonization in surgical neonates.	Pediatrics International. 2020 Mar 11. (オンライン)	Original Article	
236	Ito T, Kuriyama N, Kozuka Y, et al.	肝胆膵・移植外科学	High tumor budding is a strong predictor of poor prognosis in the resected perihilar cholangiocarcinoma patients regardless of neoadjuvant therapy, showing survival similar to those without resection.	BMC Cancer. 2020 Mar 12. 20(1):209.	Original Article	
237	Fukuyama K, Fukuzawa M, Shiroyama T, et al.	精神神経科学	Pathomechanism of nocturnal paroxysmal dystonia in autosomal dominant sleep-related hypermotor epilepsy with S284L-mutant α4 subunit of nicotinic ACh receptor.	Biomedicine and Pharmacotherapy. 2020 Mar 10. 126:110070. 2020 Mar 10.	Original Article	
238	Matsuyama H, Shindo A, Shimada T, et al.	神経病態内科学	Chronic cerebral hypoperfusion activates AIM2 and NLRP3 inflammasome.	Brain Research. 2020 Jun 1. 1736:146779. 2020 Mar 18.	Original Article	小計24件

239	Ikejiri K, Suzuki K, Ishikura K, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Endovascular Cooling Catheter-Related Thrombosis After Targeted Temperature Management for Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Case Report.	Therapeutic Hypothermia and Temperature Management. 2020 Mar 20. (オンライン)	Case report	
240	Nishida T, Yamada Y.	ヒト機能ゲノミクス部門	RNF4-mediated SUMO-targeted ubiquitination relieves PARIS/ZNF746-mediated transcriptional repression.	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2020 May 21. 526(1):110-116. 2020 Mar 17.	Original Article	
241	Yamamoto N, Eguchi A, Hirokawa Y, et al.	消化器内科学	Expression Pattern of Plexin Domain Containing 2 in Human Hepatocellular Carcinoma.	Monoclonal Antibodies in Immunodiagnosis and Immunotherapy. 2020 Apr. 39(2):57-60. 2020 Mar 23.	Original Article	
242	Hattori T, Hasegawa M, Unno H, et al.	運動器外科学・腫瘍集学治療学	TNIIIA2, The Peptide of Tenascin-C, as a Candidate for Preventing Articular Cartilage Degeneration.	Cartilage. 2020 Mar 23. 1947603520912300. (オンライン)	Original Article	
243	D'Alessandro-Gabazza CN, Kobayashi T, Yasuma T, et al.	免疫学	A Staphylococcus pro-apoptotic peptide induces acute exacerbation of pulmonary fibrosis.	Nature Communications. 2020 Mar 24. 11(1):1539.	Original Article	
244	Yoshizawa N, Sugimoto K, Tameda M, et al.	消化器内科学	miR-3940-5p/miR-8069 ratio in urine exosomes is a novel diagnostic biomarker for pancreatic ductal adenocarcinoma.	Oncology Letters. 2020 Apr. 19(4):2677-2684. 2020 Jan 29.	Original Article	
245	Koike Y, Li B, Lee C, et al.	消化管・小児外科学	The intestinal injury caused by ischemia-reperfusion is attenuated by amniotic fluid stem cells via the release of tumor necrosis factor-stimulated gene 6 protein.	FASEB Journal. 2020 May. 34(5):6824-6836. 2020 Mar 29.	Original Article	
246	Fukuyama K, Fukuzawa M, Okubo R, et al.	精神神経科学	Upregulated Connexin 43 Induced by Loss-of-Functional S284L-Mutant α4 Subunit of Nicotinic ACh Receptor Contributes to Pathomechanisms of Autosomal Dominant Sleep-Related Hypermotor Epilepsy.	Pharmaceuticals (Basel). 2020 Mar 29. 13(4):E58.	Original Article	小計8件

合計246件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別	
1					Original Article	
2					Case report	
3						
～						計0件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
　　2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・研修の主な内容 ・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に関すること（1回） ・「臨床研究法」に関すること（1回）	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

内科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、病理専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、総合診療専門研修プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	171人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
伊佐地　秀司（事務代理）	総合診療科	教授	41年	
岡本　隆二	総合内科	准教授	26年	H18.4.1-H21.3.31休職
土肥　薫	循環器内科	准教授	26年	
片山　直之	血液内科	教授	40年	
竹井　謙之	消化器・肝臓内科	教授	39年	
冨本　秀和	脳神経内科	教授	39年	
小林　哲	呼吸器内科	准教授	29年	
片山　直之	腫瘍内科	教授	40年	
村田　智博	腎臓内科	講師	21年	
矢野　裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	35年	
伊藤　正明	感染症内科	教授	41年	
水野　修吾	一般外科	教授	25年	
楠　正人	消化管外科	教授	40年	
水野　修吾	肝胆膵・移植外科	教授	25年	
庄村　遊	心臓血管外科	准教授	28年	
髙尾　仁二	呼吸器外科	教授	36年	
小川　朋子	乳腺外科	教授	31年	
内田　恵一	小児外科	准教授	30年	
須藤　啓広	整形外科	教授	37年	
池田　智明	産科婦人科	教授	37年	
平山　雅浩	小児科	教授	34年	
岡田　元宏	精神科神経科	教授	29年	
山中　恵一	皮膚科	教授	27年	H15.5.16-H17.6.30休職
井上　貴博	腎泌尿器外科	教授	26年	
近藤　峰生	眼科	教授	29年	H11.1.25-H13.1.25休職
竹内　万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	35年	
鈴木　秀謙	脳神経外科	教授	30年	
成島　三長	形成外科	教授	19年	

佐久間　肇	放射線科	教授	35年	H5.11.1-H8.3.31休職
渡邉　昌俊	病理診断科	教授	31年	
中谷　中	ゲノム診療科	教授	31年	
丸山　一男	麻酔科	教授	36年	
丸山　一男	緩和ケア科	教授	36年	
今井　寛	救急科	教授	36年	
新井　直也	歯科口腔外科	教授	31年	H15.4.1-H16.3.31休職

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 【看護部】 皮膚排泄ケア院内認定「初級コース」研修：ストーマ・褥瘡・排泄などに関して基本的な講義及び実習 皮膚排泄ケア院内認定「中級コース」研修：初級コースの講義、演習を踏まえた症例検討を通し、アセスメント力を身につける内容 ・研修の期間・実施回数 「初級コース」：9月13日、9月20日、10月4日、10月11日、10月29日、11月2日、11月26日、12月7日、12月10日、12月20日（全10回） 「中級コース」：1月14日、1月24日、2月10日、2月25日（全4回） ・研修の参加人数 「初級コース」：修了者23名 「中級コース」：修了者16名
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、臨床研究、医療安全管理について 合同研修会：感染管理、医療情報、医療機器、医薬品の安全使用について ・研修の期間・実施回数 職員研修会：平成31年4月4日、9日（同内容2回） 合同研修会：平成31年4月12日、15日、26日（同内容3回開催） ・研修の参加人数 職員研修会：1,991人（e-learning受講を含む） 合同研修会：1,991人（e-learning受講を含む）

③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　２．現状
管理責任者氏名	病院長　伊佐地　秀司
管理担当者氏名	中央放射線部部長　佐久間　肇 薬剤部長　岩本　卓也 医療安全管理部長　兼児　敏浩 感染制御部長　兼児　敏浩 臨床工学部長　竹内　万彦 医療情報管理部長　佐久間　肇 看護部長　江藤　由美 医学・病院管理部総務課長　伊藤　敦士 医学・病院管理部経営管理課長　伊藤　利宏 医学・病院管理部医事課長　土屋　有司

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴室及びサーバー	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。（患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。） なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。
		各科診療日誌	病歴室及びサーバー	
		処方せん	病歴室、薬剤部及びサーバー	
		手術記録	病歴室及びサーバー	
		看護記録	病歴室及びサーバー	
		検査所見記録	病歴室及びサーバー	
		エックス線写真	サーバー	
		紹介状	病歴室及びサーバー	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴室及びサーバー	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課、医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課、医事課、医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課、医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課、医療安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部	
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課、医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課、医療安全管理部、総合サポートセンター	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課、医療安全管理部	
		職員研修の実施状況	総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課、医療安全管理部	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　②．現状	
閲覧責任者氏名	病院長　伊佐地　秀司	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長　伊藤　敦士	
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係	
閲覧の手続の概要 ①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。		

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0 件
閲覧者別	医師	延　0 件
	歯科医師	延　0 件
	国	延　0 件
	地方公共団体	延　0 件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無

・ 指針の主な内容：

・安全管理に関する基本的な考え方
・安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項
・安全管理のための職員研修に関する基本方針
・医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針
・医療事故等発生の対応に関する基本方針
・医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針
・患者からの相談への対応に関する指針
・その他医療安全の推進のために必要な基本方針

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

・ 設置の有無（ 有・無 ）
・ 開催状況：年118回
・ 活動の主な内容：

○医療安全管理委員会（年12回）
　医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全ポスト）への投書に関する事項を所掌する。
○医療の質・倫理検討委員会（年19回）
　移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。
○医療安全会議（年75回）
医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。
○リスクマネージャー会議（年12回）
　インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。
　各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言する。
　各医療現場において、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回

・ 研修の内容（すべて）：
・病院長を講師として病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として職員の行動規範について、働き方改革担当副病院長を講師として働き方改革について、医療安全担当副病院長を講師として医療安全管理についての研修会を実施した。（同内容2回）
・外部講師による演題「裁判例から学ぶ医療事故対応」についての研修会を実施した。
・医療安全担当副病院長による演題「臨床倫理と医療安全」、肝炎相談支援センター長による演題「医療安全とウイルス性肝炎」についての研修会を実施した。（同内容2回）

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（ 有 ・ 無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ヒヤリハットニュースの発行（月１回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・　指針の主な内容： ・院内感染対策に関する基本的な考え方 ・委員会等の組織に関する基本的事項 ・職員研修に関する基本方針 ・発生状況の報告に関する基本方針 ・感染発生対応に関する基本方針 ・指針の閲覧に関する基本方針 ・その他の必要な基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・　活動の主な内容： ・微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告 ・職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告 ・病棟ラウンド指摘事項報告 ・手指衛生状況報告 ・血液培養2セット率報告 ・AST活動状況報告 ・届け出抗菌薬使用状況報告 ・洗浄・消毒・滅菌に関する内容 ・感染症関連の従業員保健に関する内容 ・指針・マニュアルの改訂に関する内容 ・地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有 ・感染症等の最新情報の共有 ・病院従業者等へのワクチン接種に関する内容	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
・　研修の内容（すべて）： ・感染制御部副部長を講師として、感染管理について研修会を実施した。（同内容3回） ・外部講師による演題「いまさら聞けないClostridioides difficile感染症」についての研修会を実施した。 ・感染制御部副部長を講師として「新型コロナウイルス感染症」、「薬剤耐性と抗菌薬適正使用」について研修会を実施した。	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： 院内にて感染症検査陽性の場合は，中央検査部より感染制御部に電話連絡が入ることとなっており，感染制御部が直ちに感染対策について部署に出向き，看護師長・医師とともに感染対策を実施している。入院時の持ち込み感染症については，病棟師長より感染制御部へ電話連絡が入ることとなっている。 従業者の感染症罹患については，感染制御部のホームページに専用の報告フォームがあり，フォームに入力することで感染制御部に報告されるシステムが確立されている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回

・　研修の主な内容：
・医療安全管理部薬剤師を講師として新入職員対象研修（医療安全）を実施した。
・薬剤部職員を講師として、全職員を対象に、医薬品の安全使用についての研修会を実施した。
・薬剤部職員を講師として、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した。

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　（(有)・無　）
・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：

１．医薬品の採用
２．医薬品の購入
３．医薬品の管理
４．医薬品の請求と調剤・交付
５．未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順
６．予約・施用と薬剤管理指導
７．医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い
８．重大な有害事象の予防・対応
９．医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い
１０．研修医等による医薬品の取扱いの制限
１１．各部門における手順
１２．地域連携
１３．医薬品安全使用ための業務手順書について

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　）
・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：

Vision Blue（眼科手術用色素製剤）、セレン注射液（在宅輸液療法におけるセレン補充）、グルタルアルデヒド溶液（人工心膜の固定）、レトロビルシロップ（HIV母子感染予防）等

・　その他の改善のための方策の主な内容：

・電子カルテ端末から電子医薬品集、最新の添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。
・院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行・配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ随時掲載している。
・病棟薬剤師と医薬品情報室員で週一回ミーティングを実施し、薬剤情報を病棟へ伝達している。
・薬剤師が行った疑義照会のうち、重大（レベル0c相当）の事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告し、注意喚起および改善策の検討を行っている。
・薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告し、委員会で内容および必要な対応を検討している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年58回

・　研修の主な内容：

・医療機器安全管理責任者を講師として、全職員を対象に、医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。
・新規購入機器においては、使用する職員名簿を作成し、メーカー主催の研修会を実施した。また、研修会では、使用方法だけでなく不具合発生時の対応など安全使用についても講義を行った。
・研修医や新人看護師、病棟移動看護師に対し、臨床工学技士を講師として医療機器の操作及び安全使用について研修会を行った。
・特に安全使用に際して、技術の習得が必要と考えられる医療機器については、医師および看護師を対象に実地研修（使用方法や有用性・安全性に関する事項、不具合が発生した場合の対応含む）を行った。

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　（　有・無　）
・　機器ごとの保守点検の主な内容：

臨床工学技士による定期点検とメーカー委託による定期点検を実施

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（　有・無　）
・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：

・人工呼吸管理中の新生児に対する専用吸入器を用いたイロプロスト吸入療法
・コレステロール塞栓症に対するLDLアフェレーシス

・　その他の改善のための方策の主な内容：

・医療機器に関わる添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録による情報収集や使用している医療機器については、メーカー等より情報を収集している。その他、医療安全管理部や他大学との連携により不具合情報を共有している。
・PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があれば、リスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師と連携した医療機器中央管理運営委員会（年4回）に情報を提供している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無

・責任者の資格（(医師)・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（６名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で報告し、適宜、同委員会への審議申請を図っている。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。

・担当者の指名の有無（(有)・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（(有)・無　）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内

容を医療安全管理部が確認する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録等の管理に関する責任者（副病院長 医療安全担当）を配置し、医師、看護師、診療情報管理士において診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。 監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームドコンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。 監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名 うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（0）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： (1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。 (2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。 (3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。 (4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。 (5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。 (6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。 (7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 (8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。 (9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。 (10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。 (11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。 ※(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。 (12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。	

(13)　高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
(14)　未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
(15)　未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
(16)　死亡事例及び重症合併症事例に関すること。
(17)　その他医療の安全管理に関すること。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2 件）、及び許可件数（2 件）
・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
・診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。
・高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
・当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（126 件）、及び許可件数（125 件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
・診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。
・未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
・当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診

療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 356 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 203 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有 （病院名：福島県立医科大学大学） ・ 無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有 （病院名：鹿児島大学） ・ 無）

・技術的助言の実施状況

① 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品・医療機器の実施後長期のモニタリングを行う仕組みづくり
② 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品・医療機器の管理に関する業務量が確実に増えていることから、事務員の増員や事務部門の充実が望まれる
③ 高難度新規医療技術を実施後に提出する報告書において、最低限必要な項目を定めることが望まれる

これらに対し、下記のとおり対応した。

① 医療安全管理部で、実施 6 ヶ月後、12 ヶ月後にモニタリングを行う体制とした。
② 現在前向きに検討中
③ 報告書の内容を改定し、必要項目を設定した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

合同研修会（感染制御部、医療情報管理部、臨床工学部、薬剤部、輸血・細胞治療部がそれぞれ

講師を担当）、薬害防止に関する研修会、臓器移植研修会、褥瘡に係る研修会、医療倫理研修会、保険診療に関する研修会を実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 日本医療機能評価機構が主催する「2019 年度特定機能病院管理者研修」を受講した。 管理者：2 日間（初回）、医療安全管理責任者：1 日間、医薬品安全管理責任者：2 日間（初回）、医療機器安全管理責任者：1 日間

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第７条の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

１．医療法（昭和２３年法律第２０５号）第１０条の規定に則った者
２．医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者
　具体的には医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等
３．病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者
　具体的には、高潔な人格と優れた学識、当院または当院以外の病院での組織管理経験、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力等
４．当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者
　具体的には、大学の附属病院としての使命である、診療・教育・研究の充実等に加え、次に掲げる事項について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等
　①　医療安全管理体制の改革を行う。また、患者の権利に配慮し、患者の視点に立った、患者中心の医療を行う。
　②　高度急性期病院の体制と機能を強化し、超高齢社会の医療の中核を担う。
　③　地域医療及び先端医療への社会の要請に応えられる未来を担う医療人を育成する。
　④　臨床研究を推進し、地域社会、国際社会に貢献する。
５．三重県の中核病院として、地域医療に貢献するために必要な資質・能力を有している者
　具体的には、三重県や三重県医師会等とも連携し、地域の中核病院として県域全体の医療に貢献すること等について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）

・ 公表の方法
大学ホームページに掲載しているほか、公募の案内文書を郵送する際に同封している。

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	(有)・無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ (有)・無 ）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ (有)・無 ）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ (有)・無 ）
・ 公表の方法
大学ホームページに掲載している。

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
尾西　康充	国立大学法人 三重大学		総務・財務・基金・企画・評価担当の理事として、大学の将来構想について豊富な知見を有しているため。	(有)・無
片山　直之	国立大学法人 三重大学		役職指定（医学系研究科長）	(有)・無
伊藤　正明	国立大学法人 三重大学		役職指定（医学部附属病院長）	(有)・無
村田　真理子	国立大学法人 三重大学		基礎医学系大学教員として、医学・医療に関する教育・研究について豊富な経験を有しているため。	(有)・無
兼児　敏浩	国立大学法人 三重大学		医療安全担当の副病院長として、病院管理の上で特に重要な医療安全について豊富な知見を有しているため	(有)・無
江藤　由美	国立大学法人 三重大学		役職指定（医学部附属病院看護部長）	(有)・無
大高　弘士	国立大学法人 三重大学		役職指定（事務局長）	(有)・無
山田　浩之	国立大学法人 三重大学		役職指定（医学・病院管理部長）	(有)・無
山本　修一	国立大学法人 千葉大学		特定機能病院の病院長として、医学・医療や病院の管理について豊富な知見を有しているため。	有・(無)
西岡　慶子	株式会社光機械製作所	○	地元企業の経営者として、法人経営や地域の経済・社会について豊富な知見を有しているため。	有・(無)

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無

・合議体の主要な審議内容
(1)　人事に関する事項
(2)　診療に関する事項
(3)　予算の配分方針に関する事項
(4)　組織の設置廃止の方針に関する事項
(5)　病院諸規程の制定改廃に関する事項
(6)　その他病院長が必要と認める事項

・審議の概要の従業者への周知状況
・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。
・院内メールや紙資料配付による周知。
・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（○を付す）	職種	役職
伊佐地　秀司	○	医師	病院長
平山　雅浩		医師	副病院長（診療担当） 小児科学　教授
佐久間　肇		医師	副病院長（経営担当） 放射線医学　教授
近藤　峰生		医師	副病院長（教育・地域連携担当） 眼科学　教授
鈴木　秀謙		医師	副病院長（研究・広報担当） 脳神経外科学　教授
江藤　由美		看護師	副病院長（医療サービス担当） 看護部長
兼児　敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 安全管理部　教授
髙尾　仁二		医師	副病院長（働き方改革担当） 胸部心臓血管外科学　教授
堀　浩樹		医師	副病院長（医学部連携担当）

丸山　一男		医師	麻酔集中治療学　教授
岡田　元宏		医師	精神神経科学　教授
竹井　謙之		医師	消化器内科学　教授
冨本　秀和		医師	神経病態内科学　教授
小川　朋子		医師	乳腺センター　教授
竹内　万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学　教授
須藤　啓広		医師	運動器外科学・腫瘍集学治療学　教授
今井　寛		医師	救命救急・総合集中治療センター　教授
池田　智明		医師	産科婦人科学　教授
新井　直也		歯科医師	口腔・顎顔面外科学　教授
成島　三長		医師	形成外科　教授
中島　亜矢子		医師	リウマチ・膠原病センター　教授
山中　恵一		医師	皮膚科学　教授
亀井　政孝		医師	臨床麻酔部　教授
水野　修吾		医師	肝胆膵・移植外科学　教授
百崎　良		医師	リハビリテーション医学　教授
土肥　薫		医師	循環器・腎臓内科学　教授
俵　功		医師	血液・腫瘍内科学　教授
問山　裕二		医師	消化管・小児外科学　教授
渡邉　昌俊		医師	病理部長
笠島　茂		医師	疫学センター長
中谷　中		医師	中央検査部　教授
田丸　智巳		医師	臨床研究開発センター　教授
岩本　卓也		薬剤師	薬剤部長
井澤　克弘		事務職員	医学・病院管理部長
門脇　文子		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当） 医学部看護学科附属病院連携推進室　教授

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　）（今後公表予定）

・　公表の方法

本学ホームページに掲載。

・　規程の主な内容

「病院長は，附属病院の管理，運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。

・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

＜副病院長＞

附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。

（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・広報、医療サービス、医療安全、働き方改革、医学部連携）

＜病院長補佐＞

附属病院の運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。

（担当：医療機器、教育・研究）

＜病院長特命補佐＞

附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。

（担当：医療情報システム、メディカルスタッフ、看護学科連携、特務、防災対策推進）

・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。

日本医療機能評価機構が主催する「2019年度特定機能病院管理者研修」を管理者（病院長）、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講している。

厚生労働省が主催する「令和元年度事業継続計画（BCP）策定研修」を病院長が受講している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無

・監査委員会の開催状況：年 2 回

・活動の主な内容：

医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ (有)・無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無 ）

・公表の方法：本学ホームページに掲載。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥野　正義	中部電力パワーグリッド株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山　眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1
小池　敦	三重県立看護大学 看護学部　教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木　明	浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長がコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。

また、「国立大学法人三重大学監事監査規程」第9条において、「監事は、役員が内部統制システムを適切に構築し運用しているかを監視し検証しなければならない」と定め、特に同条第1号では、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要あると認めたときは、意見を述べることができる」となっている。これに基づき、監事は、以下の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を検証している。

（役員会、経営協議会、教育研究評議会、拡大役員打合会、危機管理委員会、教育会議）

また、主として以下の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。

（病院マネジメント会議、医療安全管理委員会、科長会議、病院監査委員会）

これら活動の状況は毎月初めに、監事より開設者に報告され、管理者にも写しにより報告される。（令和元年10月～令和2年9月の病院関連各種会議への出席の状況は下表のとおり）

会　議　名	主　た　る　議　題	出　席　回　数
病院マネジメント会議	業績、医療安全、COI、当局指摘対応、労務管理ほか	26 回
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	12 回
科長会議	各病院幹部・科長からの報告ほか	5 回
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス	3 回

令和2年度より科長会議への出席はせず、必要に応じて会議資料を受領確認
令和2年2月以降、必要に応じて、病院内の「新型コロナウィルス感染症対策本部会議」にも出席

また、令和2年度は、危機管理委員会や教育会議などに出席して、医学部学生の臨床実習受入に伴う病院側のリスク管理の状況も確認している。

- **専門部署の設置の有無（ ㊒・無 ）**
- **内部規程の整備の有無（ ㊒・無 ）**
- **内部規程の公表の有無（ ㊒・無 ）**
- **公表の方法**　本学HPに掲載

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成３０年７月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置した。

委員は５名でうち３名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。

・ 会議体の実施状況（　年 １ 回　）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無　）（　年 １ 回　）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無　）

・ 公表の方法

本学ホームページに掲載。

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（○を付す）	利害関係
尾西　康充	国立大学法人三重大学		有・無
大高　弘士	国立大学法人三重大学		有・無
佐藤　公治	日本赤十字社名古屋第二赤十字病院		有・無
山本　修一	国立大学法人千葉大学		有・無
西岡　慶子	株式会社光機械製作所	○	有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・通報件数（年 9 件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	㊒・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。 （2005年7月認定、2010年更新、2015年更新、2020年12月受審予定）	

（注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	㊒・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	㊒・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置しており、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。	